

# 江南市公共施設再配置計画

平成 30 年 3 月  
(令和 2 年 3 月更新)

江 南 市



## 目 次

第 1 章 公共施設再配置計画の目的と位置付け	1
1-1 計画策定の目的 .....	1
1-2 計画の位置付け .....	1
第 2 章 公共施設の再配置方針	2
2-1 公共施設の再配置の基本方針 .....	2
2-2 再配置の検討の視点・進め方 .....	8
第 3 章 施設別の適正化方策（総合評価）	9
第 4 章 計画の進行管理と見直し	31
用語集	32
巻末資料	34
1 策定経過 .....	35
2 江南市公共施設再配置計画検討委員会 .....	36
3 市民参加手続結果 .....	40

注意事項・・・文章や表、グラフ中の数値は、端数処理のため内訳と合計が一致しない場合があります。



# 第1章 公共施設再配置計画の目的と位置付け

## 1-1 計画策定の目的

江南市（以下「本市」という。）の公共施設等は、老朽化の進行、厳しい財政状況、人口減少や人口構造の変化に伴う市民ニーズへの対応等、様々な課題が顕在化しています。

本市では、平成27年度（2015年度）に策定した「江南市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）において、所有する公共施設等に係る現状と課題を分析し、今後必要となる更新費用及び充当可能な財源見込みの試算、本市における公共施設マネジメントの基本方針や取組方策等をまとめました。その結果、現状のままでは将来、公共施設等の更新費用が賄えないことが明らかとなりました。

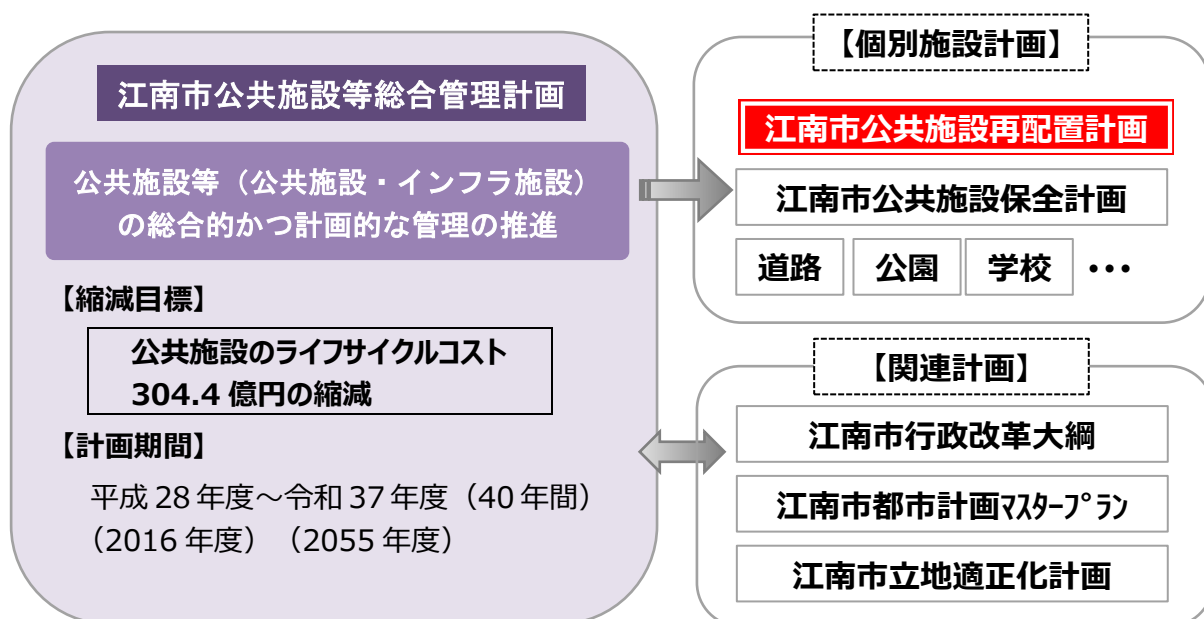
江南市公共施設再配置計画（以下「本計画」という。）は、総合管理計画で試算した財源不足の解消に向け、公共施設再配置の方針を定めるとともに、施設ごとの中長期的かつ具体的な取組等について取りまとめ、効率的かつ効果的な維持管理の実施による長寿命化や施設所有量の最適化を図り有効活用する「公共施設マネジメント」を推進するための指針となる計画です。

公共施設マネジメントのさらなる推進を図るため、本計画における取組の実施状況や検討結果、市の人口構造、財政状況の変化を踏まえ、総合管理計画と併せて、本計画を見直すものです。

## 1-2 計画の位置付け

本計画は、総合管理計画で取りまとめた本市における公共施設マネジメントの基本方針等を踏まえた、公共施設等のうち、とりわけ公共施設（建築物）の個別施設計画に位置付けられるものです。

（図表 1-1）江南市における公共施設再配置計画の位置付け



## 第2章 公共施設の再配置方針

### 2-1 公共施設の再配置の基本方針

#### (1) 公共施設の再配置の基本方針

全国的に急激な人口減少、少子高齢化が進むなか、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業等の生活機能を確保するには、地域の特色を生かした魅力あるまちづくりをすることで、「選ばれ続ける」ことが必要です。

しかし、今後、生産年齢人口の減少により市税収入が落ち込み、高齢化の進展により扶助費等の社会保障費が増加する中では、これまでのように人口増加やニーズに合わせた行政サービスの充実、施設の建設等により市民の満足度を高めていくことは決して容易なことではありません。

総合管理計画では、今後一斉に到来する公共施設等の更新に備え、公共施設の統廃合等により総延床面積と更新費用を縮減し、また、施設の運営方法の見直し等によりランニングコストを縮減することとしています。しかし、公共施設の廃止や運営方法の見直しは、単に財政負担の軽減のみを目的として行えば、結果として市のまちとしての魅力や行政サービスの水準の低下につながるおそれがあります。

本計画では、公共施設等の管理に関する基本方針等を踏まえながらも、施設の統廃合、用途の変更や複合化を「選ばれ続ける」ための新たなまちづくりの手段として位置付け、市の将来像の実現に向けて公共施設の適正な配置や運営等について検討します。その基本的な方針を以下のとおり示します。

#### 方針①

##### ➤ 「コンパクト・プラス・ネットワーク」の理念に基づくまちづくり

##### ～官民連携により都市の機能性を高めるまちづくり（集約化・効率化）～

名古屋市都心部への高いアクセス性と緑や水辺等の良好な自然環境といった江南市の強みを生かし、都市的機能と自然環境が機能的に結びつき、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の理念に基づいたまちづくりを実現するため、様々な地域の住民が利用する施設については、より利用しやすい箇所へ、地区の住民が利用する施設については、より人口が集積し地域の拠点となりうる箇所へ、官民の垣根を越えて、また、それぞれの役割分担に配慮しながら異なる機能を持つ施設を集約することで、施設の有効利用を図り、市民の利便性の向上につなげます。

#### 方針②

##### ➤ 子育て支援・教育環境の充実

##### ～人口減少、少子化等の人口構造の変化、技術革新の進展に対応した施設づくり～

妊娠・出産から育児までの切れ目のない子育て支援制度の充実や、地域で支える連携事業の推進等により、“子どもを持ちたい”、“子育てが楽しい”と思える環境を形成し、また、ICT を活用する

等、個性を生かした教育環境の充実や、生涯を通じた学習機会の創出、交流促進等により、次世代を担う子どもの心身の健全な育成をするため、施設の利用状況のモニタリングや市民の意識調査等とおして、将来的な施設需要や必要とされる行政サービスを適確に把握するとともに、今後の人口減少や少子化による人口構造の変化に伴い生じる、施設の建設時にはなかった新たなニーズにも対応した規模・機能を検討します。

### 方針③

#### ➤ 地域で支え合うコミュニティの育成

##### ～世代や性別等の垣根を越えた交流拠点づくり～

誰もが生涯を通じて社会と関わりを持つことで、地域社会を構成する様々な団体や市民同士が共に助け合い、高齢者、障害者や外国人居住者等を含め、相互に見守り、地域で支え合う意識を持ったコミュニティを育成するため、特定の個人・団体のみを利用する施設が、どんな市民にも利用しやすく、世代や性別、国籍を越えて交流することのできる拠点となるよう、設置目的や対象者等にとられない施設づくりを検討します。

### 方針④

#### ➤ さらなる安心・安全の確保

##### ～バリアフリー・ユニバーサルデザインを考慮した施設づくり～

愛知県防災会議地震部会が平成 26 年（2014 年）5 月に発表した「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」の過去地震最大モデルによる想定によると、本市は、“震度 5 強”となっています。また、液状化危険度は、“極めて低い”、一部“低い”となっており、木曾川下流域に比べ低くなっています。今後さらに市民が安心して施設を利用することができるよう、老朽化の進行した施設の改修や更新の際には、天井や照明器具等、非構造部材の耐震化により安全性を確保します。また、災害・緊急時だけでなく、普段から高齢者や障害者、妊婦や子ども連れも安心して利用できるよう、バリアフリー・ユニバーサルデザインを考慮した施設づくりを検討します。

### 方針⑤

#### ➤ 公共施設マネジメントの持続的な改善・改革

限られた財源・資産を効率的かつ計画的に活用し、公共施設を次世代に適切に引き継いでいくため、施設の運営を担う所管部署の枠組みにとられない全庁横断的な公共施設マネジメント推進体制の構築や PFI 等、民間事業者との結びつきをさらに強めた新たな事業実施手法の導入、遊休資産の売却益の基金への積立て等、より良い行政サービスの提供に向けて持続的な業務改善・行財政改革を推し進めます。

再配置の基本方針の実現に向けた取組の具体的な行動原則は以下のとおりです。

## **原則① 施設総量の縮減**

### **ア) 新設の抑制**

現在又は将来的に施設需要を満たすことができない施設は、他の施設を利用するなど、施設の新設を抑制します。ただし、それでも確保ができないものについては、他の施設との統合や複合化、PFI手法の導入を優先的に検討した上で新設することを原則とします。

### **イ) 統廃合の推進**

今後の人口減少や少子高齢化による人口構造の変化を踏まえ、施設の利用状況のモニタリングや市民の意識調査、将来的な施設需要予測をとおして施設の規模・機能が適正な状態かどうか、将来的に過不足が生じないかを検討し、過剰なものは施設の統廃合等により施設の規模・機能の適正化を図ります。

### **ウ) 複合化や機能移転（移転・転用）の推進**

市民ニーズとの乖離や民間事業者の参入による利用者の減少、他施設への機能の移転等により余裕スペースが生じた施設へ異なる機能を持つ施設を配置することで、施設の有効利用を図ります。また、施設の新設や、老朽化した施設の大規模改修・更新を実施する際には、複合化や減築を優先的に検討することを原則とします。なお、施設を移転することが市民の利便性の向上につながるなど有益であると考えられる場合には、コンパクトなまちづくりを推進するため、より人口が集積し、地域の拠点となりうる箇所への配置を検討します。

### **エ) 減築の推進**

施設の統合や複合化を実施する際には、機能の重複する諸室、トイレや階段等のスペースの集約・共用化により、省スペース化を図ります。また、既に複合化等がされている施設で、さらなる統合・複合化が図れず更新を実施する場合でも、施設内のレイアウトや動線を工夫することで減築を図り、無駄の少ない施設づくりを図ります。

## **原則② 施設の長寿命化**

今後も中長期的に維持する必要がある施設については、日常点検に加え、定期点検等を確実に実施することにより、施設の劣化や異常を早期に把握し、また、点検結果をもとに、施設の安全性、耐久性、機能性等の診断を実施し、予防保全型維持管理による施設の長寿命化を推進します。

今後は、施設の運営を担う所管部署等の枠組みにとらわれず、全庁横断的な視点から策定した江南市公共施設保全計画（以下「保全計画」という。）に基づき、予防保全型維持管理を効果的・効率的に実施します。



### 原則③ 運営の適正化

#### ア) PPP/PFI の活用

本市では、指定管理者制度や包括的民間委託による民間活力を活用したライフサイクルコスト縮減に向けた取組を積極的に行っています。この流れをさらに加速するため、施設の運営や維持管理に関して、民間提案による効率化を図り、公共と民間が単純な委託関係を越えたパートナーとなって施設運営、維持管理の効率化と施設利用の増進を図るべく、PPP/PFI の活用を積極的に進めます。また、地区による管理運営が望ましい施設や、民間参画の可能性が高く、民間による事業運営が望ましい施設は、都市計画法等の関連法令と照らし合わせながら、地区への譲渡や民間への払下げも検討します。

#### イ) 利用料金の適正化

本市では、施設の使用や各種証明発行事務等、特定の方が利益を受けるサービスに対して、利用者が応分の負担をすることによって、非利用者との公平性が確保される「受益者負担の原則」に基づき、無料で提供しているサービスの有料化も含めて使用料・手数料の見直しを行い、平成 29 年度（2017 年度）から見直された新料金による運用を開始しています。使用料・手数料については、今後も施設の利用状況等を勘案して、定期的に見直しを図ります。

### 原則④ 資産の処分・有効活用

公共施設の統廃合等により生じた土地・建物の遊休資産は、売却や民間への貸付け等を推進し、施設の更新費用に係る財源不足額の解消を図ります。

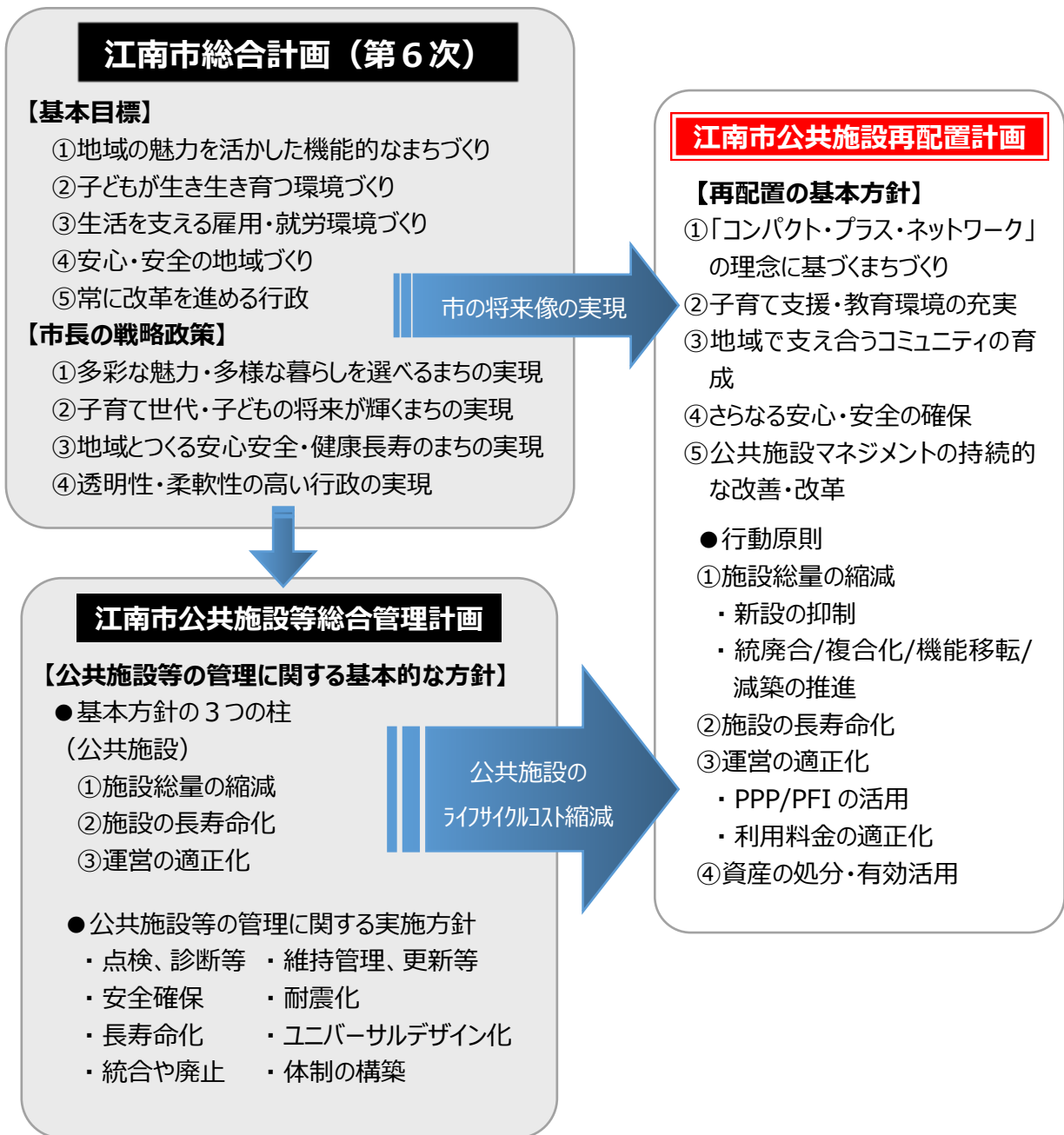
本市では、公共施設整備事業の推進を図るため、平成 25 年度（2013 年度）に江南市公共施設整備事業基金を創設しています。遊休資産の処分による売却益等を積み立て、将来の財源不足に備えます。

(図表 2-5) 取組イメージ

種別	概要	効果	現 状	実施後のイメージ
統合	同じ種類の公共施設を集めること。	共用スペースの集約、維持・運営の効率化によるコストの縮減が期待できる。		
複合化	異なる種類の公共施設を集めること。	統合による効果に加え、多目的な利用による相乗効果が期待できる。		
転用	既存の公共施設を改修し、他の施設として利用すること。	新設することなくニーズの高い施設を確保できる。		
減築	改修や建替えによって既存の公共施設の規模より小さくすること。	規模の縮小による維持管理運営コストの削減が期待できる。		

※延床面積は既存施設（事業実施前）を 1 とした場合の割合

(図表 2-1) 各計画の関連性



## (2) 計画期間及び適正化方策の実施・検討時期

本計画は、総合管理計画の下位に位置する個別施設計画として位置付けられるものであるため、その計画期間も総合管理計画にあわせ、令和 37 年度（2055 年度）までの 38 年間となります。

総合管理計画は、40 年間という長期にわたる計画であることから、現在の市の人口推計や、財政状況、施設ごとのライフサイクルコストと、計画策定後の実情との間に乖離がないかなど、おおむね 5 年ごとに検証し、定期的に見直しを図り、より実効性を有する計画とすることとしています。したがって、総合管理計画をその上位計画とする本計画も、より実効性の高い計画とするため、令和 37 年度（2055 年度）までの計画期間をおおむね 10 年ずつ計 4 期に分け、定期的に見直しを図ることとします。

建築物の耐用年数は、税務上、減価償却費を算定するためのものであり、物理的な耐用年数はこれより長く、適切な維持管理がなされる場合には、耐用年数を超えて使用することも可能となります。総合管理計画では、予防保全型維持管理により、施設の長寿命化を図ることを基本方針の 1 つとしていますが、実際には、同じ構造の建築物でも、様々な要因により実際の耐用年数にはバラつきが生じます。

このため、各施設の具体的な適正化方策は、原則として、大蔵省令で定められる耐用年数の全部を経過する時期までに実施し、又は検討を開始することとします。

## 2-2 再配置の検討の視点・進め方

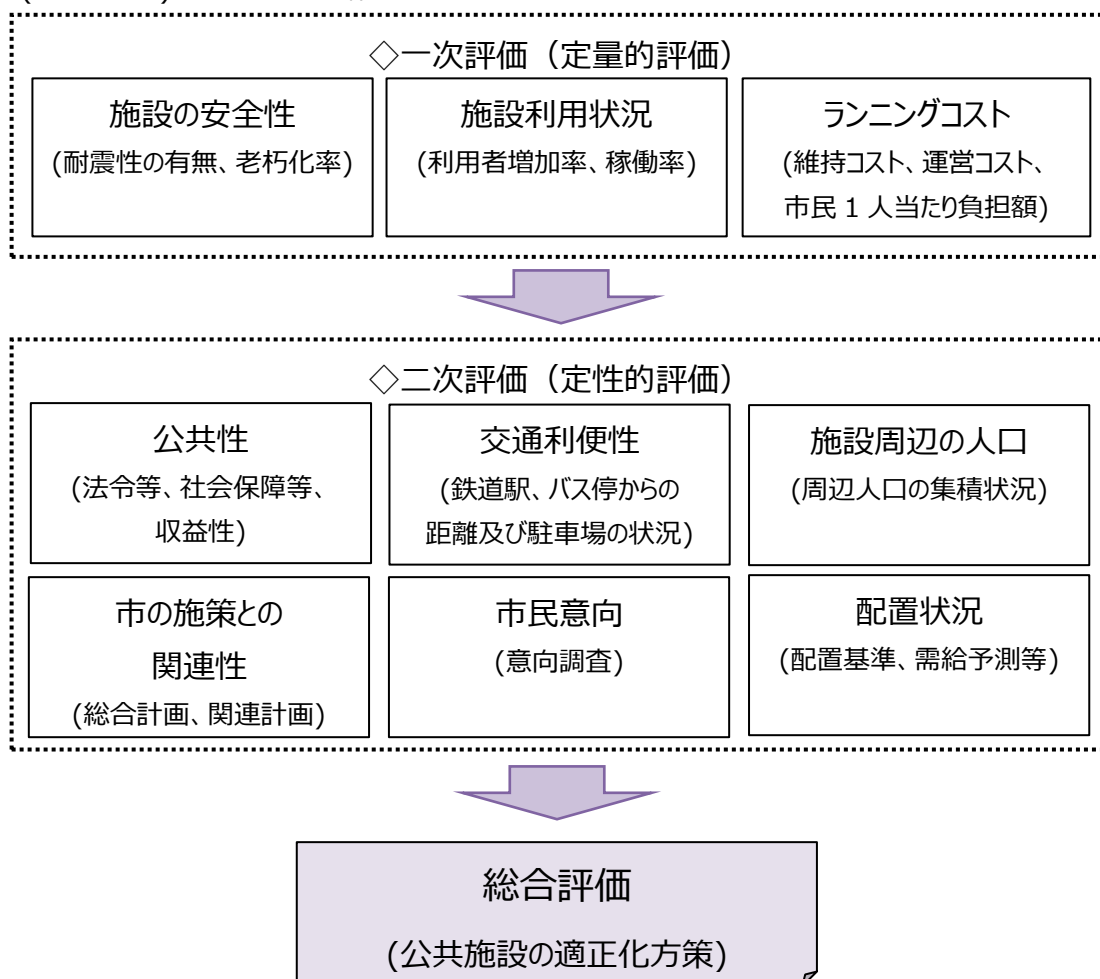
公共施設の再配置の検討は、総合管理計画で実施した一次評価（定量的評価）と二次評価（定性的評価）の結果に基づき行います。

一次評価では、施設の安全性、施設利用状況、ランニングコストの3つの視点から評価し、評価点を付けます。評価結果は、施設の今後の検討の方向性として「継続活用」又は「見直し対象」に分類するとともに、施設用途別の再配置の方向性を示します。

二次評価では、公共性、交通利便性、施設周辺の人口、市の施策との関連性、市民意向、配置状況の6つの視点から定性的に評価します。

総合評価では、一次評価と二次評価の結果を踏まえて、総合的な観点から各施設の具体的な方策を検討します。

(図表 3-10) 公共施設の再配置の検討フロー



## 第3章 施設別の適正化方策（総合評価）

### 適正化方策の見方

#### ① 市民文化系施設

##### ①-1 市民文化系施設（文化施設）

施設類型の大分類・中分類を掲載しています。

##### (1) 市民文化会館

施設類型の小分類又は施設名称を掲載しています。

###### ○短期的な取組（第1期）

施設の現状・課題を解決するために平成30年度（2018年度）からの10年間に実施すべき短期的な取組を記載しています。

###### ○長期的な取組（第2期～第4期）

今後の人口減少や、人口構造・ニーズの変化を踏まえ、第2期から計画期間終了までに実施すべき長期的な取組を記載しています。長期的な取組は、現在の市の人口推計や、財政状況、施設ごとのライフサイクルコストと、計画策定後の実情との間に乖離がないかなどを検証し、定期的に見直しを図ります。

#### 戦略プロジェクト（戦略政策に関連する事務事業）

- 戦略政策に関連する事務事業を戦略プロジェクトと位置付け、戦略政策（事務事業）及び事業内容を掲載しています。

#### 関連する個別計画

- 施設の整備、維持管理等に関連する個別計画を掲載しています。

#### 市民意向

- 公共施設に関するアンケートの回答、ワークショップで発表された再配置案の主なものを掲載しています。

#### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
1	市民文化会館	見直し対象(Ⅳ)	1984 (S59)	35 47	12 (2031)	○ 複合化	●		
2	布袋ふれあい会館【布袋支所】	見直し対象(Ⅱ)	2002 (H14)	17 50	33 (2052)	○ 一部転用・指定管理		○ 減築	●

#### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名
1	市民文化会館
2	布袋ふれあい会館【布袋支所】

- ・ 施設に複数の棟がある場合は、最も面積の大きい棟の建築年度を代表建築年度としています。経過年数、残耐用年数は平成30年度（2018年度）末時点の数値。
- ・ 複合施設（従たる施設）の代表建築年度は、主たる施設（小学校内の学童保育所は、使用する教室等の属する校舎）の建築年度としています。
- ・ ●印は、適正化方策を実施又は検討開始する時期の目安として、耐用年数の全部が経過する時期を、○印は、他の施設との関連や市の施策への対応を考慮し、耐用年数が経過する時期以外であっても、適正化方策の実施又はその方向性の検討をすべき時期を表します。
- ・ 第1期に適正化方策を実施する施設については、第1期10年間のスケジュール（アクションプラン）を記載しています。

## ① 市民文化系施設

### ①-1 市民文化系施設（文化施設）

#### (1) 市民文化会館

##### ○短期的な取組（第1期）

比較的人口が集積した地区に立地している利点を活かし、老朽化が進行しつつある建物の改修時に利用者層の近い市民文化系施設や社会教育系施設と複合化し、利用者の増加を図るとともに、一体的な維持管理によりランニングコストの縮減を図ります。

##### ○長期的な取組（第2期～第4期）

予防保全型維持管理により、健全度を保ちながら目標使用年数が経過するまで維持していきます。

#### (2) 布袋ふれあい会館【布袋支所】

##### ○短期的な取組（第1期）

支所は、施設ニーズの変化が予想されることから、他の支所も含め、今後の支所機能の必要性について検討し、統廃合や複合化を図り、施設の運営については、指定管理者制度の導入等により、ランニングコストの縮減を図ります。

##### ○長期的な取組（第2期～第4期）

今後の高齢者の増加に伴い、高齢福祉施設としてのニーズの高まりが予想されるため、予防保全型維持管理により、健全度を保ちながら目標使用年数が経過するまで維持していきます。また、施設の改修時には、今後のニーズの変化を適確に捉え、設備を含め、施設規模・機能の見直しを図ります。

#### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
1	市民文化会館	見直し対象(Ⅳ)	1984 (S59)	35 47	12 (2031)	○ 複合化	●		
2	布袋ふれあい会館【布袋支所】	見直し対象(Ⅱ)	2002 (H14)	17 50	33 (2052)	○ 一部転用・指定管理		○ 減築	●

#### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
1	市民文化会館							築40年 PPP/PFI調査、複合化			
2	布袋ふれあい会館【布袋支所】					築20年 指定管理準備、導入					
				支所のあり方検討		一部転用					

#### 【市民文化会館】

##### 市民意向

##### ○アンケート・ワークショップでの主な意見

- ・ 近隣団体との広域利用
- ・ 民間活力の活用（民間委託）
- ・ 複合化：文化施設の集約（図書館）、近隣施設の集約（市役所、保健センター）

## ①-2 市民文化系施設（集会施設）

### (1) 公民館

#### ○短期的な取組（第1期）

老朽化が進行した古知野北公民館については、近隣の学習等供用施設や学童保育所等と複合化し、利用者の増加、ランニングコストの縮減を図ります。また、3公民館のうち、古知野北公民館が唯一有する体育室のスポーツセンターへの機能移転も併せて検討します。その他の公民館については、予防保全型維持管理により施設の長寿命化を図りながら適切に維持していきます。

#### ○長期的な取組（第2期～第4期）

公民館は、講座の開設や講演会の開催、レクリエーションに関する集会を開催する社会教育施設ですが、学習室や実習室等の貸室機能については、他の目的で設置された施設との機能の重複が見られ、これらの施設や、近接する学校や保育園等との複合化を図ることで多世代交流の場とし、利用者の増加や施設の維持管理の効率化によるランニングコストの縮減を図ります。

#### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
3	古知野北公民館	見直し対象(Ⅳ)	1966 (S41)	53 50	△3 (2016)	● 複合化			
4	古知野東公民館	見直し対象(Ⅱ)	1989 (H1)	30 50	20 (2039)		○ 複合化	●	
5	古知野西公民館	見直し対象(Ⅱ)	1992 (H4)	27 50	23 (2042)		○ 複合化	●	

#### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
3	古知野北公民館	機能検討、複合化								築60年	

#### 市民意向

##### ○アンケート・ワークショップでの主な意見

- ・ 民間活力の活用（民間への譲渡）
- ・ 複合化：多世代交流（小中学校、保育園、児童館）、近隣施設の集約（小中学校、保育園、児童館）、重複機能の集約（学習等供用施設）

## (2) 学習等供用施設

### ○短期的な取組（第1期）

主に施設の近隣住民が学習や集会のために利用し、既に地縁団体等が指定管理者として維持・運営している施設もあることから、各地区との協議の上、受入可能な地区については、施設を譲渡します。古知野北部地区学習等供用施設や老朽化の進行した草井地区学習等供用施設は児童館、学童保育所としての機能も有していることから、更新・長寿命化改修時等に近隣他施設と複合化することなどによりライフサイクルコストの縮減を図るとともに、より多くの利用者が集い、多世代交流の拠点となるような施設づくりを図ります。

### ○長期的な取組（第2期～第4期）

その他の学習等供用施設についても、更新・長寿命化改修時に近隣他施設と複合化することなどにより更新費用の縮減を図るとともに、多くの利用者が集い、多世代交流の拠点となるような施設とし、利用者の増加や市民1人当たりの負担の軽減を図ります。

### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
				耐用年数	年数				
6	草井地区学習等供用施設【児童館】	見直し対象(Ⅱ)	1976 (S51)	43 50	7 (2026)	● 複合化			
7	布袋北部地区学習等供用施設	見直し対象(Ⅱ)	1978 (S53)	41 50	9 (2028)	○ 複合化	●		
8	古知野北部地区学習等供用施設【児童館】	継続活用(Ⅰ)	1986 (S61)	33 50	17 (2036)	○ 複合化	●		
9	布袋南部地区学習等供用施設	見直し対象(Ⅱ)	1988 (S63)	31 50	19 (2038)		○ 複合化	●	
10	学習等供用施設中般若会館	継続活用(Ⅰ)	1988 (S63)	31 50	19 (2038)	○ 民間譲渡		●	
11	学習等供用施設鹿子島会館	継続活用(Ⅰ)	1988 (S63)	31 50	19 (2038)	○ 民間譲渡		●	
12	学習等供用施設曾本会館	継続活用(Ⅰ)	1989 (H1)	30 50	20 (2039)	○ 民間譲渡		●	
13	学習等供用施設前飛保会館	継続活用(Ⅰ)	1989 (H1)	30 50	20 (2039)	○ 民間譲渡		●	
14	学習等供用施設飛高会館	継続活用(Ⅰ)	1990 (H2)	29 50	21 (2040)	○ 民間譲渡		●	
15	宮田地区学習等供用施設	見直し対象(Ⅱ)	1990 (H2)	29 50	21 (2040)		○ 複合化	●	
16	学習等供用施設江森会館	継続活用(Ⅰ)	1990 (H2)	29 50	21 (2040)	○ 民間譲渡		●	
17	学習等供用施設村久野会館	継続活用(Ⅰ)	1991 (H3)	28 50	22 (2041)	○ 民間譲渡		●	
18	学習等供用施設小脇会館	継続活用(Ⅰ)	1993 (H5)	26 50	24 (2043)	○ 民間譲渡		●	
19	学習等供用施設草井会館	継続活用(Ⅰ)	1994 (H6)	25 50	25 (2044)	○ 民間譲渡		●	
20	学習等供用施設神明会館	継続活用(Ⅰ)	2001 (H13)	18 50	32 (2051)	○ 民間譲渡			●



## 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
6	草井地区学習等供用施設【児童館】			複合化						●	
7	布袋北部地区学習等供用施設	築40年		複合化							
8	古知野北部地区学習等供用施設【児童館】			複合化		解体				築40年	
10	学習等供用施設中般若会館		指定管理継続	民間譲渡							
11	学習等供用施設鹿子島会館		指定管理継続	民間譲渡							
12	学習等供用施設曾本会館		指定管理継続	民間譲渡							
13	学習等供用施設前飛保会館		指定管理継続	民間譲渡							
14	学習等供用施設飛高会館		指定管理継続	民間譲渡							
16	学習等供用施設江森会館		指定管理継続	民間譲渡							
17	学習等供用施設村久野会館		指定管理継続	民間譲渡							
18	学習等供用施設小脇会館		指定管理継続	民間譲渡							
19	学習等供用施設草井会館		指定管理継続	民間譲渡							
20	学習等供用施設神明会館		指定管理継続	民間譲渡	築20年						

### 市民意向

#### ○アンケート・ワークショップでの主な意見

- ・複合化：多世代交流（スポーツ・レクリエーション系施設、小中学校、児童館）、重複機能の集約（公民館）

## ② 社会教育系施設

### (1) 歴史民俗資料館

#### ○短期的な取組（第1期）

歴史民俗資料館は、主たる施設である市民文化会館の適正化方策に併せて、その立地等を見直し、さらなる利用者の増加が見込まれる施設との複合化を検討します。

#### ○長期的な取組（第2期～第4期）

歴史民俗資料館は、郷土への誇りと愛着を高めるため、郷土の歴史や文化財に関するセミナー、講演会を開催するとともに市内に残されている歴史資料や歴史民俗資料館の資料を公開した企画展を開催し、利用者の増加を図ります。

## (2) 図書館

### ○短期的な取組（第1期）

図書館は老朽化が著しいことから、布袋駅東複合公共施設へ移転し、「市民一人ひとりの暮らしに寄り添い、幸せをかたちにする図書館」を基本理念に、利用動向や維持・運営状況、市民ニーズを踏まえ、本市の特性に合わせ図書館機能の充実を図ります。

### ○長期的な取組（第2期～第4期）

電子書籍の普及やそれに伴う今後の新たな展開等を見据え、絶えずニーズの変化に対応した施設づくりを図ります。

### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
1.1	歴史民俗資料館	見直し対象(Ⅱ)	1984 (S59)	35 47	12 (2031)	○ ※	●		
21	図書館	見直し対象(Ⅳ)	1975 (S50)	44 47	3 (2022)	● 移転			

※主たる施設である市民文化会館の適正化方策に準じます。

### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
21	図書館	基本計画	指定管理継続	移転		●					

#### 【図書館】

#### 戦略プロジェクト（戦略政策に関連する事務事業）

- 布袋駅東複合公共施設に新図書館を整備（新図書館整備事業）  
…布袋駅前という立地を活かして、江南市図書館基本計画に基づき、新図書館の整備を行う。

#### 関連する個別計画

- 江南市図書館基本計画

#### 市民意向

#### ○アンケート・ワークショップでの主な意見

- ・ 近隣団体との広域利用
- ・ 図書館機能の中学校区等への分散化
- ・ 複合化：文化施設の集約（文化会館）、多世代交流（児童館、子育て支援センター）、利便性の向上（市役所、老人福祉センター）

## ③ スポーツ・レクリエーション系施設

### ○短期的な取組（第1期）

武道館と市営グランド管理棟は、予防保全型維持管理により施設の長寿命化を図り、スポーツセンターとの一体的な指定管理者制度の導入等により、ランニングコストの改善を図ります。また、他の

施設に備えられる運動施設や、防災倉庫に保管する物資を集約し効率化を図りながら、スポーツ振興及び防災の拠点としての機能を強化します。

### ○長期的な取組（第2期～第4期）

市民の健康を支え健康長寿のまちを実現するため、スポーツセンターと武道館、市営グラウンドがスポーツ・レクリエーションの場にとどまらず誰もが気軽に利用できる拠点となるよう、多くの機能を持つ施設利用を検討します。

### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
22	スポーツセンター	見直し対象(Ⅱ)	2017 (H29)	2 47	45 (2064)	○ 指定管理			
23	武道館	見直し対象(Ⅲ)、 見直し対象(Ⅳ)	1985 (S60)	34 47	13 (2032)	○ 指定管理	●		
24	市営グラウンド管理棟	継続活用(Ⅰ)	1985 (S60)	34 47	13 (2032)	○ 指定管理	●		

### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
22	スポーツセンター	供用開始									
23	武道館		指定管理準備				導入		築40年		
24	市営グラウンド管理棟							築40年			

### 戦略プロジェクト（戦略政策に関連する事務事業）

- スポーツプラザを活用した健康づくり（スポーツ教室開催事業）
  - …誰もが気軽に楽しむことができ、健康づくりのきっかけとなる軽スポーツを普及させるため、軽スポーツ健康教室や軽スポーツフェスティバルを開催する。

### 市民意向

#### ○アンケート・ワークショップでの主な意見

- ・複合化：多世代交流（学習等供用施設）

## ④ 行政系施設

### ④-1 庁舎等

#### (1) 庁舎

##### ○短期的な取組（第1期）

草井支所は、併設する草井地区学習等供用施設【児童館】と同じく老朽化が進行しており、また、施設ニーズの変化が予想されることから、他の支所も含め、今後の支所機能の必要性について検討し、統廃合や複合化を実施します。

市役所は、老朽化が著しく延床面積も大きいことからランニングコストが高額となり、また、更新に係る費用も莫大なものとなるため、維持管理の包括的発注、予防保全型維持管理により長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

○長期的な取組（第2期～第4期）

市役所は、PPP/PFI手法の導入による民間活力の活用や、市役所西分庁舎をはじめとした他施設との複合化等、財政負担の少ない手法を検討し更新を図ります。

適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
25	市役所	見直し対象(Ⅳ)	1974 (S49)	45 50	5 (2024)	● 長寿命化	○ 複合化		
26	草井支所	見直し対象(Ⅱ)	1976 (S51)	43 50	7 (2026)	● 統廃合			
27	宮田支所	見直し対象(Ⅱ)	2014 (H26)	5 30	25 (2044)	○ 統廃合		● 複合化	
28	市役所西分庁舎	見直し対象(Ⅳ)	1965 (S40)	54 50	△4 (2015)	● 長寿命化	○ 機能移転		

第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
25	市役所							●			
26	草井支所									●	
27	宮田支所										
28	市役所西分庁舎										

【市役所】

市民意向

○アンケート・ワークショップでの主な意見

- ・人口減少を見込んだ減築
- ・複合化：近隣施設の集約（老人福祉センター、保健センター）、利便性の向上（図書館）

(2) その他行政系施設

○短期的な取組（第1期）

旧清掃事務所、旧小杵小脇公民館、旧丹葉家畜保健衛生所、旧養護老人ホームむつみは解体し、跡地を再利用又は民間へ売却します。

環境事業センターは新しい建物であるため、今後も予防保全型維持管理により健全度を保ちながら目標使用年数が経過するまで維持していきます。

ファミリー・サポート・センターは、「子育て支援のワンストップ拠点」としての機能を有する布袋駅東複合公共施設へ移転し、子育て支援センターや保健センターと連携を強化することで子育て世代の利便性を高めるとともに、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を実施します。

○長期的な取組（第2期～第4期）

布袋駅東複合公共施設は、「子育て支援のワンストップ拠点」の機能を中心として構成する官民複合施設で、駅前の好立地を活かし、利便性が高く、効果的かつ効率的な複合サービスを提供することとしており、今後の子育てに関するニーズの変化を適確に捉え、他の機能との連携により常に時代にあったサービスを提供し、賑わいのあふれる施設づくりを図ります。

環境事業センターは、施設の改修時には、今後のニーズの変化を適確に捉え、設備を含め、施設規模・機能の見直しを図ります。

### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
29	旧丹葉家畜保健衛生所	見直し対象(Ⅲ)	1953 (S28)	66 22	△44 (1975)	● 廃止			
30	旧小杣小脇公民館	見直し対象(Ⅲ)	1975 (S50)	44 22	△22 (1997)	● 廃止			
31	旧清掃事務所	見直し対象(Ⅲ)	1969 (S44)	50 31	△19 (2000)	● 廃止			
32	環境事業センター	見直し対象(Ⅱ)	2001 (H13)	18 38	20 (2039)			● 減築	
33	旧養護老人ホームむつみ	継続活用(Ⅰ)	1992 (H4)	27 47	20 (2039)	○ 廃止		●	
84.2	ファミリー・サポート・センター	継続活用(Ⅰ)	1980 (S55)	39 34	△5 (2014)	● 移転			

### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
29	旧丹葉家畜保健衛生所										
30	旧小杣小脇公民館										
31	旧清掃事務所										
33	旧養護老人ホームむつみ										
84.2	ファミリー・サポート・センター										

#### 【ファミリー・サポート・センター】

#### 関連する個別計画

- 第2期江南市子ども・子育て支援事業計画（R2～R6（2020～2024））

## ④-2 消防施設

### ○短期的な取組（第1期）

消防庁舎と消防署東分署庁舎は、予防保全型維持管理により施設の長寿命化を図ります。  
消防本部倉庫は他の施設等へ機能移転し、跡地を再利用又は民間へ売却します。

### ○長期的な取組（第2期～第4期）

地震災害や風水害時における市の災害応急対策の拠点機能を補完し、また、超高齢社会の進展等に伴う救急出動の増加や救急業務の高度化に対応するため、市民の健康を支える拠点である江南厚生病院との連携による救急体制の充実強化を図ります。

適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
				耐用年数					
34	消防庁舎	見直し対象(Ⅳ)	1986 (S61)	33 50	17 (2036)		● 減築		
35	消防署東分署庁舎	継続活用(Ⅰ)	1997 (H9)	22 50	28 (2047)		○ 減築	●	
36	消防団第3分団小折車庫	継続活用(Ⅰ)	1991 (H3)	28 25	△3 (2016)	● 長寿命化			
37	消防団第2分団宮後車庫	継続活用(Ⅰ)	1994 (H6)	25 25	0 (2019)	● 長寿命化			
38	消防団第5分団本部車庫	継続活用(Ⅰ)	2000 (H12)	19 31	12 (2031)		● 長寿命化		
39	消防本部 倉庫	見直し対象(Ⅲ)	1973 (S48)	46 24	△22 (1997)	● 廃止			
40	消防団第3分団本部車庫	継続活用(Ⅰ)	2002 (H14)	17 31	14 (2033)		● 長寿命化		
41	消防団第4分団本部車庫	継続活用(Ⅰ)	2004 (H16)	15 31	16 (2035)		● 長寿命化		
42	消防団第2分団本部車庫	継続活用(Ⅰ)	2007 (H19)	12 31	19 (2038)			● 長寿命化	
43	消防団第1分団東野車庫	継続活用(Ⅰ)	2007 (H19)	12 25	13 (2032)		● 長寿命化		
44	消防団第1分団本部車庫	継続活用(Ⅰ)	2010 (H22)	9 31	22 (2041)			● 長寿命化	
45	消防団第3分団秋津車庫	継続活用(Ⅰ)	2011 (H23)	8 25	17 (2036)		● 長寿命化		

第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
36	消防団第3分団小折車庫										
37	消防団第2分団宮後車庫		●								
39	消防本部 倉庫			解体							

④-3 防災施設

○短期的な取組（第1期）

地域安全安心活動拠点等施設は、地区との協議の上、受入可能な場合は譲渡し、又は安全性を考慮し廃止します。

防災倉庫は、防災センターやスポーツセンターなど、他の施設へ機能移転し、跡地を再利用又は民間へ売却します。

○長期的な取組（第2期～第4期）

防災センターは、いつ発生してもおかしくないと言われている南海トラフ巨大地震に備え、市民への防災情報の提供や防災意識の高揚を図る応急活動等の拠点として、予防保全型維持管理により健全度を保ちながら目標使用年数が経過するまで維持していきます。

適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
				耐用年数					
46	防災倉庫	見直し対象(Ⅲ)	1971 (S46)	48 31	△17 (2002)	● 廃止			
47	地域安全安心活動拠点等施設	見直し対象(Ⅲ)	1972 (S47)	47 41	△6 (2013)	● 譲渡・廃止			
48	防災センター	見直し対象(Ⅱ)	2013 (H25)	6 38	32 (2051)				● 減築

## 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
46	防災倉庫		解体			売却等					
47	地域安全安心活動拠点等施設		協議、譲渡・解体								

### ⑤ 学校教育系施設

#### ⑤-1 小中学校

##### ○短期的な取組（第1期）

今後学級数の減少が見込まれる学校や老朽化が進行し既に耐用年数を経過した校舎については、学校に近接し、同じく老朽化した施設と同時に更新や長寿命化改修を実施し複合化することで、効果的かつ効率的に安全性を確保しながら、地域住民の生涯にわたる学習・文化・スポーツ等の活動の場として、児童生徒だけでなく様々な人々が利用しやすい施設づくりを図ります。

また、老朽化した学校プールは、水泳授業において民間のスイミングスクールのプールを活用することにより、更新費用や光熱水費など、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

##### ○長期的な取組（第2期～第4期）

老朽化による劣化度の進行状況や少子化による学級数の減少、民間の住宅開発によるニーズの増加等の影響と併せて、近隣の小中学校や異なる機能を有する施設の状況も勘案し、常に最適な施設規模、ニーズに対応した環境を保ちながら、統合や複合化により施設のライフサイクルコストの縮減を図ります。

### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築 年度	経過年数 耐用年数	残耐用 年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
49	古知野南小学校	見直し対象(Ⅳ)	1969 (S44)	50 47	△3 (2016)	● 長寿命化・複合化等			
50	布袋北小学校	見直し対象(Ⅳ)	1966 (S41)	53 47	△6 (2013)	● 長寿命化・複合化等			
51	布袋小学校	見直し対象(Ⅳ)	1970 (S45)	49 47	△2 (2017)	● 長寿命化・複合化等			
52	古知野西小学校	見直し対象(Ⅳ)	1972 (S47)	47 47	0 (2019)	● 長寿命化・複合化等			
53	古知野北小学校	見直し対象(Ⅳ)	1976 (S51)	43 47	4 (2023)	● 長寿命化・複合化等			
54	草井小学校	見直し対象(Ⅳ)	1971 (S46)	48 47	△1 (2018)	● 長寿命化・複合化等			
55	古知野東小学校	見直し対象(Ⅳ)	1967 (S42)	52 47	△5 (2014)	● 長寿命化・複合化等			
56	宮田小学校	見直し対象(Ⅳ)	1964 (S39)	55 47	△8 (2011)	● 長寿命化・複合化等			
57	藤里小学校	見直し対象(Ⅳ)	1970 (S45)	49 47	△2 (2017)	● 長寿命化・複合化等			
58	門弟山小学校	見直し対象(Ⅱ)	1977 (S52)	42 47	5 (2024)	● 長寿命化・複合化等			
59	古知野中学校	見直し対象(Ⅳ)	1972 (S47)	47 47	0 (2019)	● 長寿命化・複合化等			
60	布袋中学校	見直し対象(Ⅳ)	1971 (S46)	48 47	△1 (2018)	● 長寿命化・複合化等			
61	宮田中学校	見直し対象(Ⅳ)	1971 (S46)	48 47	△1 (2018)	● 長寿命化・複合化等			
62	北部中学校	見直し対象(Ⅳ)	1964 (S39)	55 47	△8 (2011)	● 長寿命化・複合化等			
63	西部中学校	見直し対象(Ⅳ)	1981 (S56)	38 47	9 (2028)	○ 長寿命化・複合化等	●		

※（仮称）江南市学校施設長寿命化計画に基づき計画的に施設の改修・更新、長寿命化を図ります。

## 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
	(小学校共通)	民間フル活用検討	開始								
	(小中学校共通)	長寿命化計画策定					複合化・更新等				

### 戦略プロジェクト（戦略政策に関連する事務事業）

- エアコン設置（やトイレ改修）等の学校環境整備（学校施設改造事業）
  - …エアコン設置等による学習環境の充実や、経年劣化した学校施設の計画的な改修（トイレ改修等）を行う。
- 学童保育を早期に小学6年生まで引上げ（放課後子ども総合プラン事業（放課後児童健全育成）、学童保育所整備等事業）
  - …利用対象学年の上限を小学4年生から小学6年生へ引き上げる。
  - …利用希望者を受け入れられるよう、必要な施設整備を行う。
- 放課後こども教室を増設（放課後子ども総合プラン事業（放課後子ども教室））
  - …市内全小学校区での放課後こども教室の開設を順次進める。

### 関連する個別計画

- （仮称）江南市学校施設長寿命化計画（※本計画を踏まえ今後策定予定）

### 市民意向

#### ○アンケート・ワークショップでの主な意見

- ・複合化：多世代交流（保育園）、近隣施設の集約（公民館、保育園、学童保育所）、安全性の向上（学童保育所）

## ⑤-2 給食センター

### ○短期的な取組（第1期）

食物アレルギーへの対応を含め、より安全安心で質の高い給食の提供のため、2つの給食センターの統合を視野に入れ、新学校給食センターを整備します。

### ○長期的な取組（第2期～第4期）

新たな給食センターの施設及び設備を予防保全型維持管理により健全度を保ちながら目標使用年数が経過するまで維持していきます。

## 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
64	北部学校給食センター	見直し対象(IV)	1971 (S46)	48 38	△10 (2009)	● 更新(統合)			
65	南部学校給食センター	見直し対象(IV)	1979 (S54)	40 38	△2 (2017)	● 更新(統合)			



### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
64	北部学校給食センター	基本 計画									
65	南部学校給食センター		築40年	PPP/PFI検討、統合							

#### 戦略プロジェクト（戦略政策に関連する事務事業）

- 新学校給食センターの建設（新学校給食センター整備事業）
  - …食物アレルギーの対応も含め、より安心安全で質の高い給食を提供するため、給食センターの更新を行う。

#### 関連する個別計画

- 江南市学校給食基本計画

### ⑤-3 その他教育施設

#### ○短期的な取組（第1期）

少年センターと適応指導教室は、市民体育会館の更新に伴い市役所西分庁舎へ移転し、友人関係やいじめ、不登校、家族関係など、子どもや家庭の悩みに対する相談体制を整えます。

#### ○長期的な取組（第2期～第4期）

地域と連携しながら子どもの健全な育成を図るために、多様な世代の人々や自然との交流が図れるよう、他施設との複合施設（従たる施設）として、一体的かつ効率的に維持していきます。

#### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築 年度	経過年数 耐用年数	残耐用 年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
28.1	少年センター	継続活用(I)	1965 (S40)	54 50	△4 (2015)	● 移転	○ ※		
28.2	適応指導教室	見直し対象(II)	1965 (S40)	54 50	△4 (2015)	● 移転	○ ※		

※主たる施設である市役所西分庁舎の適正化方策に準じます。

### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
28.1	少年センター								築60年		
28.2	適応指導教室	移転							築60年		

## ⑥ 子育て支援施設

### ⑥-1 保育園

#### ○短期的な取組（第1期）

老朽化が進行した園舎については、保育園に近接し、同じく老朽化した施設と同時に更新や長寿命化改修を実施し統合・複合化することで、効果的かつ効率的に安全性を確保しながら、保育サービスの充実や、園児を送迎するための自家用車の駐車スペースなど新たなニーズへの対応を図ります。

特に、定員充足率の低い宮田地区の保育園や老朽化の進行した藤里保育園等は、統合や周辺施設との複合化の実施にあわせ、地区のニーズに合った機能を検討する必要があります。

#### ○長期的な取組（第2期～第4期）

子どもの年齢や親の就労状況等に応じた多様な支援を用意し、教育・保育や子育て支援の選択肢を増やすため、民間事業者との連携や民間活力の導入を推進することで保育の供給量を維持しながら、老朽化による劣化度の進行状況や少子化による保育園の定員充足率の動向に併せて、近隣の保育園や異なる機能を有する施設の状況も踏まえた統合や複合化により施設のライフサイクルコストの縮減を図ります。

#### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数		残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
				経過年数	耐用年数					
66	布袋保育園	見直し対象(Ⅳ)	1976 (S51)	43 47	4 (2023)	● 長寿命化・複合化等				
67	古知野中保育園	見直し対象(Ⅱ)	1979 (S54)	40 47	7 (2026)	● 長寿命化・複合化等				
68	古知野南保育園	見直し対象(Ⅱ)	1980 (S55)	39 47	8 (2027)	● 長寿命化・複合化等				
69	古知野北保育園	見直し対象(Ⅱ)	1981 (S56)	38 47	9 (2028)	○ 長寿命化・複合化等	●			
70	布袋北保育園	見直し対象(Ⅱ)	1975 (S50)	44 47	3 (2022)	● 長寿命化・複合化等				
71	小鹿保育園	見直し対象(Ⅳ)	1972 (S47)	47 47	0 (2019)	● 長寿命化・複合化等				
72	草井保育園	見直し対象(Ⅱ)	1978 (S53)	41 47	6 (2025)	● 長寿命化・複合化等				
73	宮田保育園	見直し対象(Ⅱ)	1978 (S53)	41 47	6 (2025)	● 長寿命化・複合化等				
74	古知野東保育園	見直し対象(Ⅱ)	1979 (S54)	40 47	7 (2026)	● 長寿命化・複合化等				
75	古知野西保育園	見直し対象(Ⅱ)	1982 (S57)	37 47	10 (2029)	○ 長寿命化・複合化等	●			
76	布袋西保育園	見直し対象(Ⅱ)	1979 (S54)	40 47	7 (2026)	● 長寿命化・複合化等				
77	宮田東保育園	見直し対象(Ⅱ)	1973 (S48)	46 47	1 (2020)	● 長寿命化・複合化等				
78	中央保育園	見直し対象(Ⅱ)	1976 (S51)	43 47	4 (2023)	● 長寿命化・複合化等				
79	宮田南保育園	見直し対象(Ⅱ)	1983 (S58)	36 47	11 (2030)	○ 長寿命化・複合化等	●			
80	藤里保育園	見直し対象(Ⅳ)	1971 (S46)	48 47	△1 (2018)	● 長寿命化・複合化等				
81	門弟山保育園	見直し対象(Ⅱ)	1973 (S48)	46 47	1 (2020)	● 長寿命化・複合化等				
82	布袋東保育園	見直し対象(Ⅱ)	1975 (S50)	44 47	3 (2022)	● 長寿命化・複合化等				
83	あずま保育園	見直し対象(Ⅱ)	1977 (S52)	42 47	5 (2024)	● 長寿命化・複合化等				

#### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
	(保育園共通)										
長寿命化・複合化・更新等											

## 戦略プロジェクト（戦略政策に関連する事務事業）

- 病児・病後児保育、低年齢保育の受入体制の強化（病児・病後児保育事業）  
 ……病児・病後児保育の実施に向けて、関係機関との連携や施設整備等を推進する。

## 関連する個別計画

- 第2期江南市子ども・子育て支援事業計画（R2～R6（2020～2024））

## 市民意向

### ○アンケート・ワークショップでの主な意見

- ・ 民間活力の活用（民間委託、民間への譲渡）
- ・ 複合化：多世代交流（公民館）、近隣施設の集約（小中学校、公民館）、重複機能の集約（子育て支援施設）

## ⑥-2 児童館等

### (1) 児童館

#### ○短期的な取組（第1期）

交通児童遊園は、従たる施設である子育て支援センターとファミリー・サポート・センターが布袋駅東複合公共施設へ移転する予定で、その後の児童館機能は移転し、敷地の有効活用について検討します。

#### ○長期的な取組（第2期～第4期）

その他の児童館については、予防保全型維持管理により施設の長寿命化を図りながら、他の施設との複合化等により、重複する機能の集約による省スペース化、維持・運営の効率化を図ります。

### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
84	交通児童遊園	見直し対象(Ⅳ)	1980 (S55)	39 34	△5 (2014)	● 機能移転			
85	古知野児童館	見直し対象(Ⅱ)	1999 (H11)	20 47	27 (2046)			● 複合化	
86	藤ヶ丘児童館	見直し対象(Ⅱ)	2000 (H12)	19 47	28 (2047)			● 複合化	

### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
84	交通児童遊園			築40年 一部機能移転				移転			

## 市民意向

### ○アンケート・ワークショップでの主な意見

- ・ 複合化：多世代交流（公民館、学習等共用施設、老人福祉センター）、近隣施設の集約（公民館）、重複機能の集約（子育て支援施設）

## (2) 子育て支援センター

### ○短期的な取組（第1期）

交通児童遊園の従たる施設である子育て支援センターは、「子育て支援のワンストップ拠点」としての機能を有する布袋駅東複合公共施設へ移転し、子育て支援機能を強化することで子育て世代の利便性を高めるとともに、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を実施します。また、同じく交通児童遊園の従たる施設であるファミリー・サポート・センターも、子育て世代包括支援センターとの連携が不可欠であり、併せて複合公共施設へ移転することで運営の効率化を図ります。

宮田保育園の従たる施設である第2子育て支援センターは、宮田保育園の老朽化が進行していることから、施設の統合や他の施設との複合化の必要性が高く、育児支援ニーズの高い地区への移転を検討します。

### ○長期的な取組（第2期～第4期）

民間の住宅開発等によるニーズの増加を予測し、子育て家庭が多く居住し育児支援ニーズの高い地区の公共施設を活用しながら、適確に応えられるよう柔軟な施設配置を検討していきます。

### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
73.1	第2子育て支援センター	見直し対象(Ⅱ)	1978 (S53)	41 47	6 (2025)	● ※			
84.1	子育て支援センター	見直し対象(Ⅱ)	1980 (S55)	39 34	△5 (2014)	● 移転			

※主たる施設である宮田保育園の適正化方策に準じます。

### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
84.1	子育て支援センター			築40年 移転							

#### 【子育て支援センター】

##### 戦略プロジェクト（戦略政策に関連する事務事業）

- 布袋駅東複合公共施設に子育て支援拠点を整備し、妊娠・出産・子育てをワンストップで支援（子育て支援センター整備等事業）
  - …保健機能と子育て機能が連携した、子育て支援のワンストップ拠点を整備するため、関連施設を布袋駅東複合公共施設に配置する。

##### 関連する個別計画

- 第2期江南市子ども・子育て支援事業計画（R2～R6（2020～2024））

### (3) 学童保育所

#### ○短期的な取組（第1期）

古知野北部地区学習等供用施設や老朽化の進行した草井地区学習等供用施設は児童館としての機能も有し、更新・改修時等に学校など近隣の他施設と複合化することなどによりライフサイクルコストの縮減を図ります。

その他の老朽化の進行した学校施設内の学童保育所についても、学校の更新・改修に併せて施設機能の高機能化・多機能化を図り、児童生徒や地域住民にも多様な学習環境を創出し、多くの利用者が集い、多世代交流の拠点となるような施設づくりを図ります。

#### ○長期的な取組（第2期～第4期）

学校の校舎や敷地では賄えず学校外に設置された施設については、新しい建物が多く評価が高くなっていますが、今後の共働き率の上昇や年少人口・学校の学級数の増減によるニーズ、施設状況の変化を見据え、学校やその他の施設と複合化し、その後の有効活用を検討します。

#### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
				耐用年数	年数				
6.1	草井地区学習等供用施設 学童保育所	継続活用(I)	1976 (S51)	43	7	●			
				50	(2026)	複合化			
8.1	古知野北部地区学習等供 用施設学童保育所	継続活用(I)	1986 (S61)	33	17	○	●		
				50	(2036)	複合化			
49.1	古知野南学童保育所分室	見直し対象(II)	1965 (S40)	54 47	△7 (2012)	● ※			
50.1	布袋北学童保育所	見直し対象(III)	1966 (S41)	53 47	△6 (2013)	● ※			
51.1	布袋学童保育所分室	見直し対象(III)	1968 (S43)	51 47	△4 (2015)	● ※			
52.1	古知野西学童保育所分室	見直し対象(II)	2007 (H19)	12 27	15 (2034)	○ ※	●		
57.1	藤里学童保育所	見直し対象(III)、 見直し対象(IV)	1968 (S43)	51	△4	●			
				47	(2015)	※			
87	古知野西学童保育所	継続活用(I)	1998 (H10)	21 27	6 (2025)	● 複合化			
88	宮田小学校学童室	見直し対象(II)	2014 (H26)	5 27	22 (2041)			● 複合化	
89	門弟山小学校学童室	見直し対象(II)	2015 (H27)	4 27	23 (2042)			● 複合化	
90	古知野東小学校学童室	見直し対象(II)	2016 (H28)	3 34	31 (2050)				● 複合化
91	古知野南学童保育所	継続活用(I)	2016 (H28)	3	24			●	
				27	(2043)			複合化	
92	布袋学童保育所	継続活用(I)	2016 (H28)	3	24			●	
				27	(2043)			複合化	

※ 主たる施設である小学校の適正化方策に準じます。

#### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
6.1	草井地区学習等供用施設 学童保育所			複合化						●	
8.1	古知野北部地区学習等供 用施設学童保育所		複合化			移転				築40年	
87	古知野西学童保育所	築20年		複合化					●		

## 戦略プロジェクト（戦略政策に関連する事務事業）

- 学童保育を早期に小学6年生まで引上げ（放課後子ども総合プラン事業（放課後児童健全育成）、学童保育所整備等事業）
  - …利用対象学年の上限を小学4年生から小学6年生へ引き上げる。
  - …利用希望者を受け入れられるよう、必要な施設整備を行う。

## 関連する個別計画

- 第2期江南市子ども・子育て支援事業計画（R2～R6（2020～2024））

## 市民意向

### ○アンケート・ワークショップでの主な意見

- ・複合化：近隣施設の集約（小中学校）、重複機能の集約（子育て支援施設）、安全性の向上（小中学校）

## ⑦ 保健・福祉施設

### ⑦-1 保健施設

#### ○短期的な取組（第1期）

保健センターは、「子育て支援のワンストップ拠点」としての機能を有する布袋駅東複合公共施設へ移転し、妊娠期からの子育て支援機能を強化することで子育て世代の利便性を高めるとともに、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を実施します。また、他の施設も併せて移転することで、重複する機能の集約による省スペース化、維持・運営の効率化や、既存施設の解体による施設総量の縮減を図ります。

#### ○長期的な取組（第2期～第4期）

布袋駅東複合公共施設は、「子育て支援のワンストップ拠点」の機能を中心として構成する官民複合施設で、駅前的好立地を活かし、利便性が高く、効果的かつ効率的な複合サービスを提供することとしており、今後の子育てに関するニーズの変化等を適確に捉え、他の機能との連携により常に時代にあったサービスを提供し、賑わいのあふれる施設づくりを図ります。

### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
93	保健センター	見直し対象(IV)	1979 (S54)	40 50	10 (2029)	○ 移転・解体	●		

### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
93	保健センター		築40年	移転		解体					

## 戦略プロジェクト（戦略政策に関連する事務事業）

- 布袋駅東複合公共施設に子育て支援拠点を整備し、妊娠・出産・子育てをワンストップで支援（保健センター整備等事業）
  - …保健機能と子育て機能が連携した、子育て支援のワンストップ拠点を整備するため、関連施設を布袋駅東複合公共施設に配置する。

### 市民意向

#### ○アンケート・ワークショップでの主な意見

- ・複合化：近隣施設の集約（文化会館、市役所、老人福祉センター）、重複機能の集約（障害福祉施設）

## ⑦-2 高齢福祉施設

### ○短期的な取組（第1期）

高齢福祉施設は老朽化が著しいことから、利用動向、維持・運営状況を踏まえた適正な規模や機能、立地等を検討し、複合化や移転等を含めた施設の更新を図ります。また、高齢者だけでなく、多くの利用者が集い、多様な世代の人々や自然との交流の拠点となるような施設づくりを図ります。

### ○長期的な取組（第2期～第4期）

更新後の高齢福祉施設は、予防保全型維持管理により、健全度を保ちながら目標使用年数が経過するまで維持していきます。

### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
94	老人福祉センター【中央コミュニティ・センター】	見直し対象(Ⅳ)	1975 (S50)	44 50	6 (2025)	● 更新(複合化等)			
95	高齢者生きがい活動センター	見直し対象(Ⅱ)	1986 (S61)	33 38	5 (2024)	● 更新(複合化等)			

### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
94	老人福祉センター【中央コミュニティ・センター】		指定管理継続 複合化検討			更新(複合化)			●		
95	高齢者生きがい活動センター		指定管理継続 複合化検討			更新(複合化)		●		築40年	

### 【老人福祉センター】

#### 市民意向

#### ○アンケート・ワークショップでの主な意見

- ・複合化：多世代交流（児童館）、近隣施設の集約（文化会館、市役所、保健センター）

### ⑦-3 児童福祉施設、障害福祉施設

#### ○短期的な取組（第1期）

わかくさ園は老朽化が進行しており、また、市内に民間の類似施設が立地することから、民間事業者への事業譲渡等による機能・規模の縮小を図ります。

#### ○長期的な取組（第2期～第4期）

障害福祉施設は基幹施設として重要な位置付けにあり、予防保全型維持管理により施設の長寿命化を図りながら、更新時には、民間事業者の施設が多く事業展開されていることから、他施設との複合化や民間事業者との連携強化による機能・規模の縮小を図ります。

#### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
96	わかくさ園	見直し対象(Ⅳ)	1974 (S49)	45 47	2 (2021)	● 事業譲渡等			
97	在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ	見直し対象(Ⅱ)	1990 (H2)	29 50	21 (2040)		○ 複合化	●	
98	心身障害者小規模授産施設	見直し対象(Ⅱ)	1994 (H6)	25 38	13 (2032)		● 複合化		

#### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
96	わかくさ園				●						

#### 市民意向

##### ○アンケート・ワークショップでの主な意見

- ・複合化：重複機能の集約（保健センター、障害福祉施設）

### ⑧ 医療施設

#### ○短期的な取組（第1期）

休日急病診療所は、民間医療機関による休日診療が実施されているなど、利用者数の少ない診療科目の見直し等を図り、業務の効率化、ランニングコストの縮減を図ります。

#### ○長期的な取組（第2期～第4期）

民間医療機関との連携を強化し、老朽化した施設や設備等の更新費用の縮減を図ることができるよう、新たな診療体制の構築を図ります。

#### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
99	休日急病診療所	見直し対象(Ⅱ)	1979 (S54)	40 50	10 (2029)	○ 機能縮小	● 診療体制構築		

#### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
99	休日急病診療所		築40年								



## ⑨ 産業系施設

### ○短期的な取組（第1期）

すいとびあ江南は、本市の公共施設でも特に維持コストの高額な施設であり、また、行政関与の必要性が低いことから、公共施設としてのあり方、本市の観光施策におけるすいとびあ江南の位置付け等を見直し、民間事業者への譲渡や廃止により施設総量の縮減を図ります。

### ○長期的な取組（第2期～第4期）

ふるさとづくりの拠点施設として、木曾川をはじめ恵まれた自然を生かし、中小河川の水辺を蘇らせ、緑を保護育成して、潤いのある住みよい生活環境を創造することを基本に、市民や勤労者等の余暇と憩いの場として整備されたものであることから、施設の利用形態が変わっても、国営木曾三川公園フラワーパーク江南（江南花卉園芸公園）や総合運動公園である蘇南公園、近隣の市町をつなぐ遊歩道・サイクリングロードにより木曾川の自然を楽しむ水と緑のネットワークを形成し、多くの人に親しまれる土地利用を図ります。

### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
100	すいとびあ江南	見直し対象(Ⅳ)	1994 (H6)	25 47	22 (2041)	○ 譲渡・廃止		●	

### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
100	すいとびあ江南				指定管理継続						
				譲渡・廃止検討					譲渡・廃止		

## ⑩ 公営住宅

### ○短期的な取組（第1期）

江南市公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的に管理し健全度を保ちながら維持していきます。

### ○長期的な取組（第2期～第4期）

施設の更新時には、今後の人口減少を見据え、立地適正化計画に基づく居住誘導区域内への移転や、民間賃貸住宅の借上げ等の新たな手法の導入、県営住宅も含めた住宅需給バランスを考慮した管理戸数の見直し、規模の縮小を検討します。

### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
101	市営山王住宅	継続活用(Ⅰ)	1991 (H3)	28 47	19 (2038)		○ 減築	●	
102	市営力長住宅	継続活用(Ⅰ)	1995 (H7)	24 47	23 (2042)		○ 減築	●	
103	市営東野住宅	継続活用(Ⅰ)	1999 (H11)	20 47	27 (2046)			●	

### 関連する個別計画

- 江南市公営住宅等長寿命化計画（H21～R2（2009～2020））

## ⑪ 公園（プール監視所、倉庫・器具庫・休憩所等）

### ○短期的な取組（第1期）

木賀公園コミュニティ・プール（監視所）は、行政関与の必要性が低く民間類似施設による代替も可能であり、プール本体の老朽化が著しいことを考慮し廃止します。

江南駅前便所は、維持・管理に係る財源を確保するため、ネーミングライツの導入を検討します。

### ○長期的な取組（第2期～第4期）

公園内の建築物（倉庫、便所等）は、インフラ施設に区分される公園の遊具・設備等も含め、定期点検の結果から明らかになった損傷の程度に応じて、適切な管理を図っていきます。

### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
104	木賀公園コミュニティ・プール(監視所)	見直し対象(Ⅳ)	1980 (S55)	39 50	11 (2030)	○ 廃止	●		
105	中央公園(便所兼機械室)	継続活用(Ⅰ)	1984 (S59)	35 38	3 (2022)	● ※			
106	蘇南公園(器具庫等)	継続活用(Ⅰ)	2003 (H15)	16 31	15 (2034)		● ※		
107	五明公園(倉庫)	継続活用(Ⅰ)	1983 (S58)	36 31	△5 (2014)	● ※			
108	曼陀羅寺公園(休憩所等)	見直し対象(Ⅲ)	1972 (S47)	47 15	△32 (1987)	● ※			
109	江南駅前便所	継続活用(Ⅰ)	1993 (H5)	26 38	12 (2031)	○ ネーミングライツ検討	●		

※ 遊具・設備等との一体的な管理を図ります。

### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
104	木賀公園コミュニティ・プール(監視所)			築40年 廃止、解体							●
109	江南駅前便所		ネーミングライツ検討								

### 関連する個別計画

- 江南市公園施設長寿命化計画（H25～R4（2013～2022））

## ⑫ 最終処分場

### 適正化方策の実施・検討時期

施設番号	施設名	一次評価結果	代表建築年度	経過年数 耐用年数	残耐用年数	第1期 2018-2027	第2期 2028-2037	第3期 2038-2047	第4期 2048-2055
110	一般廃棄物最終処分場(管理室及び機械室)	見直し対象(Ⅳ)	1992 (H4)	27 31	4 (2023)	●	○ 廃止		

### 第1期適正化方策のアクションプラン

施設番号	施設名	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
110	一般廃棄物最終処分場(管理室及び機械室)						●				
								予防保全型維持管理			

## 第4章 計画の進行管理と見直し

総合管理計画は、おおむね5年ごとに検証し、定期的に見直しを図ることとしています。総合管理計画の下位に属し、個別施設計画に当たる本計画、保全計画についても、総合管理計画にあわせて見直すことに加え、個別施設計画における適正化方策の実施状況、その縮減効果等を検証し、計画の上下関係にとらわれず、互いに反映しあいながら柔軟に公共施設マネジメントの推進を図ります。

将来の施設の更新費用に係る財源不足額は、今後の適正化方策の実施状況や市の人口構造、財政状況の変化により変動することが見込まれるため、将来更新費用の縮減目標も修正することが必要となります。本計画の計画期間をおおむね10年ずつ計4期に分けた第1期については、具体的なアクションプランに沿って実行していくこととなりますが、その効果の発現状況を検証するとともに、第6次江南市総合計画の終了に伴う新たな総合計画においてめざす都市の将来像等も踏まえ、続く第2期適正化方策アクションプランに反映させ、第3期以降についても、順次計画の熟度を高め、公共施設マネジメントの着実な推進を図ります。

## 用語集

＜あ行＞	
維持コスト	施設、設備、構造物等の機能の維持のために必要となる点検、調査、補修等に係る費用をいう。
インフラ	インフラストラクチャーの略で、水道や道路等の都市基盤のこと。
運営コスト	光熱水費や消耗品・備品の購入費等、施設において公共サービスを提供するために必要な費用をいう。
＜か行＞	
減築	利用動向等に合わせて、規模の過大な施設を縮小し、更新費用やランニングコストを軽減すること。
公共施設等	いわゆるハコモノである公共施設、公用施設その他の地方公共団体が所有する建築物その他の工作物をいう。具体的には、ハコモノの他、道路・橋梁等の土木構造物、公営企業の施設（上下水道等）、プラント系施設（廃棄物処理場、浄水場、汚水処理場等）等のインフラ施設を含む包括的な概念。 本計画では、単に公共施設という場合はハコモノを指す。
更新	老朽化に伴い機能が低下した施設等を建て替え、同程度の機能に再整備すること。建築物の解体・新築、設備の交換。
更新費用	公共施設等の改修・更新に要する費用のこと。
個別施設計画	総合管理計画の下位に位置する計画であり、所管省庁の指針等に基づいた長寿命化計画、維持管理計画等のこと。再配置計画や保全計画も含まれる。
コンパクト・プラス・ネットワーク	国土交通省が提唱している政策であり、人口減少や高齢化が進む中であっても、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活サービス機能を確保し、住民が安心して暮らせる、持続可能な都市経営を実現できるよう、関係施策間で連携しながら、都市のコンパクト化と拠点間の交通ネットワーク形成をすること。
＜さ行＞	
事後保全型維持管理	施設の機能や性能に関する明らかな不具合が生じてから修繕を行う管理手法をいう。⇔予防保全型維持管理
指定管理者制度	地方公共団体やその外郭団体に制限されていた公共施設の管理を営利企業、財団法人、NPO等の法人やその他の民間団体にも包括的に代行させることができる制度のこと。PPPの手法の1つ。
修繕	日常的な維持管理の中で、破損や劣化による不具合が生じている箇所を補修等により、元の状態に戻すこと。

＜た行＞	
大規模改修	老朽化した各部位について全面的に改修する工事で、施設の長寿命化に加え、バリアフリー対応等の機能向上に資する内容を含むものをいう。
耐震性	建築物が地震に耐えられる性能のこと。その度合い。耐震指標である Is 値が 0.6 以上ある建築物は、震度 6 強程度の大地震に対しても、倒壊や崩壊の危険性は低いと考えられている。
耐用年数	建築物の寿命としての年数のこと。法定耐用年数、物理的耐用年数、機能的耐用年数、経済的耐用年数の 4 種類がある。本計画では、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和 40 年大蔵省令第 15 号）において定められる法定耐用年数を指す。
長寿命化	計画的に改修することで、建築物の構造体の劣化進行を遅らせ、長期間使用すること。
転用	施設の従来の利用目的を他の利用目的に変更すること。
統合	機能が重複する複数の施設を 1 つに集約して整備すること。
＜は行＞	
PFI	Private Finance Initiative の略。 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、効率化や公共サービスの向上をめざすもの。PPP の手法の 1 つ。
PPP	Public Private Partnership の略。 公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、民間資本や民間のノウハウを利用し、効率化や公共サービスの向上をめざすもの。指定管理者制度、民間委託、PFI 等。
複合化	機能が異なる複数の施設を 1 つに集約して整備すること。
扶助費	性質別歳出の一分類で、社会保障制度（医療、年金、福祉、介護、生活保護等）の一環として児童・高齢者・障害者・生活困窮者等に対して国・地方公共団体が行う支援に要する経費のこと。
＜や行＞	
予防保全改修	建築物や設備の異常の有無について事前に把握し、劣化が拡大する前に改修を行い、建築物の部材を適切に保全する工事を指す。
予防保全型維持管理	損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで、機能の保持・回復を図る管理手法をいい、突発的な事故や費用発生を減少させることができ、費用の平準化、施設の長寿命化が可能となる。⇔事後保全型維持管理
＜ら行＞	
ライフサイクルコスト（LCC）	計画・設計・施工から、その建築物の維持管理、最終的な解体・廃棄までに要する費用の総額のこと。イニシャルコスト（初期費用）とランニングコストに分けられる。
ランニングコスト	維持コストと運営コストの合計。維持・運営それぞれにかかる人件費を含む。

卷末資料

**1 策定経過**

**2 江南市公共施設再配置計画検討委員会**

**3 市民参加手続結果**

# 1 策定経過

## 平成 28 年度（2016 年度）

月 日		内 容	備 考
10	25	第 1 回江南市公共施設再配置計画調整会議	・公共建築物の現状と課題について ・公共建築物の評価基準について ・公共施設再配置の方向性の確認について
11	9	第 2 回江南市公共施設再配置計画調整会議	公共施設再配置の方向性の確認について
11	18	第 1 回江南市公共施設再配置計画検討委員会	第 1 回江南市公共施設再配置計画調整会議に同じ
2	1	第 3 回江南市公共施設再配置計画調整会議	・公共施設再配置の基本方針等の確認について ・公共施設再配置の検討の視点・進め方について ・公共施設再配置の具体的取組、実施手法の検討について ・アンケート調査の実施について
2	24	第 2 回江南市公共施設再配置計画検討委員会	同上

## 平成 29 年度（2017 年度）

月 日		内 容	備 考
5	28	今後の公共施設のあり方に関するアンケート	こどもフェスティバル（すいとびあ江南）
7	6	第 4 回江南市公共施設再配置計画調整会議	・公共施設再配置の基本方針等の確認について ・公共施設再配置の具体的取組、実施手法の検討について
8	4	第 3 回江南市公共施設再配置計画検討委員会	同上
8	19	今後の公共施設のあり方に関するワークショップ①	13:00～16:00 江南市役所
8	27	今後の公共施設のあり方に関するワークショップ②	13:00～16:00 布袋ふれあい会館
10	7	今後の公共施設のあり方に関するアンケート	市民まつり（すいとびあ江南）
10	8	アンケート	
10	16	第 5 回江南市公共施設再配置計画調整会議	公共施設再配置の具体的取組、実施手法の検討について
10	28	江南市の公共施設再配置に関するシンポジウム	14:00～16:20 市民文化会館 今後の公共施設のあり方に関するアンケート同時実施
11	22	第 4 回江南市公共施設再配置計画検討委員会	江南市公共施設再配置計画（案）について
12月20日 ～ 1月19日		パブリックコメント実施	
2	9	第 5 回江南市公共施設再配置計画検討委員会	・パブリックコメントの結果について ・江南市公共施設再配置計画（案）について

## 2 江南市公共施設再配置計画検討委員会

### (1) 江南市公共施設再配置計画検討委員会設置要綱

#### (設置)

第1条 江南市公共施設再配置計画の策定等に関し、その基本的事項を審議するため、江南市公共施設再配置計画検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

#### (定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 公共施設 市が所有する公共施設、公用施設その他の建築物をいう。
- (2) 再配置 公共施設のあり方について抜本的に見直し、その適正な配置及び効率的な管理運営を実現することをいう。

#### (所掌事務)

第3条 委員会は、次に掲げる事項を調査審議する。

- (1) 公共施設の評価基準に関すること。
- (2) 公共施設の再配置の方針に関すること。
- (3) 公共施設の再配置のための方策及び具体的な取組に関すること。
- (4) 江南市公共施設再配置計画の策定に関すること。
- (5) その他委員会において特に必要と認める事項に関すること。

#### (組織)

第4条 委員会は、8人以内の委員で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 市議会議員
- (3) 公募市民
- (4) その他優れた識見を有する者

#### (委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。



(会議)

第 6 条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集する。

- 2 委員会は、半数以上の委員が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(報告)

第 7 条 委員長は、委員会における審議結果を提言書として取りまとめ、市長に報告する。

(調整会議)

第 8 条 第 3 条に規定する委員会の所掌事務の処理に必要な調査及び研究を補助し、並びに委員会の検討内容の実現性及びその実施方策等の検討を行うため、江南市公共施設再配置計画調整会議（以下「調整会議」という。）を置く。

- 2 調整会議は、調査、研究及び検討の経過並びにその結果を必要に応じて委員会に報告する。
- 3 調整会議は、会長、副会長その他の構成員で組織する。
- 4 会長は市長政策室長を、副会長は秘書政策課長をもって充てる。
- 5 調整会議の構成員は、課長及びこれに相当する職の者から市長が指定する者をもって充てる。
- 6 調整会議は、会長が必要に応じて招集する。

(庶務)

第 9 条 委員会及び調整会議の庶務は、市長政策室秘書政策課において処理する。

(雑則)

第 10 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成 28 年 7 月 22 日から施行し、平成 30 年 3 月 31 日限り、その効力を失う。

(最初の会議の招集)

- 2 この要綱の施行の日以後最初に招集すべき委員会の会議は、第 6 条第 1 項の規定にかかわらず、市長が招集する。

## (2) 江南市公共施設再配置計画検討委員会の構成

(平成30年3月現在)

区分	氏名	役職名等
学識経験者	◎高橋 政稔	名城大学名誉教授 江南市都市計画審議会会長
	○恒川 和久	名古屋大学准教授
	富貴田 智子	愛知江南短期大学講師
各種団体等	早川 徹也 (大谷 元)	江南金融協会会長
	村瀬 真奈美	前江南市行政改革推進委員会委員
市議会代表	山 登志浩	市議会議員
公募委員	大西 信二	
	藤山 理江	

(任期：平成28年11月18日から平成30年3月31日まで) (敬称略、順不同)

◎委員長 ○副委員長

( ) 書きは前任者

### (3) 江南市公共施設再配置計画調整会議の構成

(平成30年3月現在)

区 分	役 職 名	区 分	役 職 名
会長	市長政策室長	構成員	まちづくり課長
副会長	秘書政策課長	構成員	まちづくり課統括幹
構成員	防災安全課長	構成員	建築課長
構成員	市民サービス課長	構成員	地方創生推進課長 ※平成29年3月31日まで
構成員	商工観光課長	構成員	行政経営課長
構成員	環境課長	構成員	総務課長
構成員	高齢者生きがい課長	構成員	総務予防課長
構成員	子育て支援課長	構成員	教育課長
構成員	福祉課長	構成員	生涯学習課長
構成員	健康づくり課長	構成員	生涯学習課統括幹

(任期：平成28年9月28日から平成30年3月31日まで)

### 3 市民参加手続結果

#### (1) 今後の公共施設のあり方に関するアンケート調査結果

##### ◆ 調査概要

調査日	対象	回答数	
		市民	市外在住者
平成29年（2017年） 5月28日（日）	こどもフェスティバル来場者 （対面式）	162件	36件
10月7日（土）、8日（日）	江南市民まつり来場者 （対面式）	416件	25件
10月28日（土）	江南市の公共施設再配置に関する シンポジウム参加者	51件	9件
合計		629件	70件

設問の構成	<b>【市民】</b> 1. 回答者の基礎情報 2. 公共施設の利用状況 3. 公共施設に対する考え方 4. 公共施設に対する意見等	<b>【市外在住者】</b> 1. 回答者の基礎情報 2. 江南市の公共施設の利用状況 3. 江南市の公共施設に対する意見等
備考	・表・グラフ中の構成比（％）は、端数処理のため内訳と合計が一致しない場合があります。 ・複数回答式の設問の場合、回答割合は回答対象者数を分母として算出しているため、選択肢ごとの回答の割合の合計が100%を超える場合があります。	



## ◆ 結果概要

### ■ 結果概要（市民）

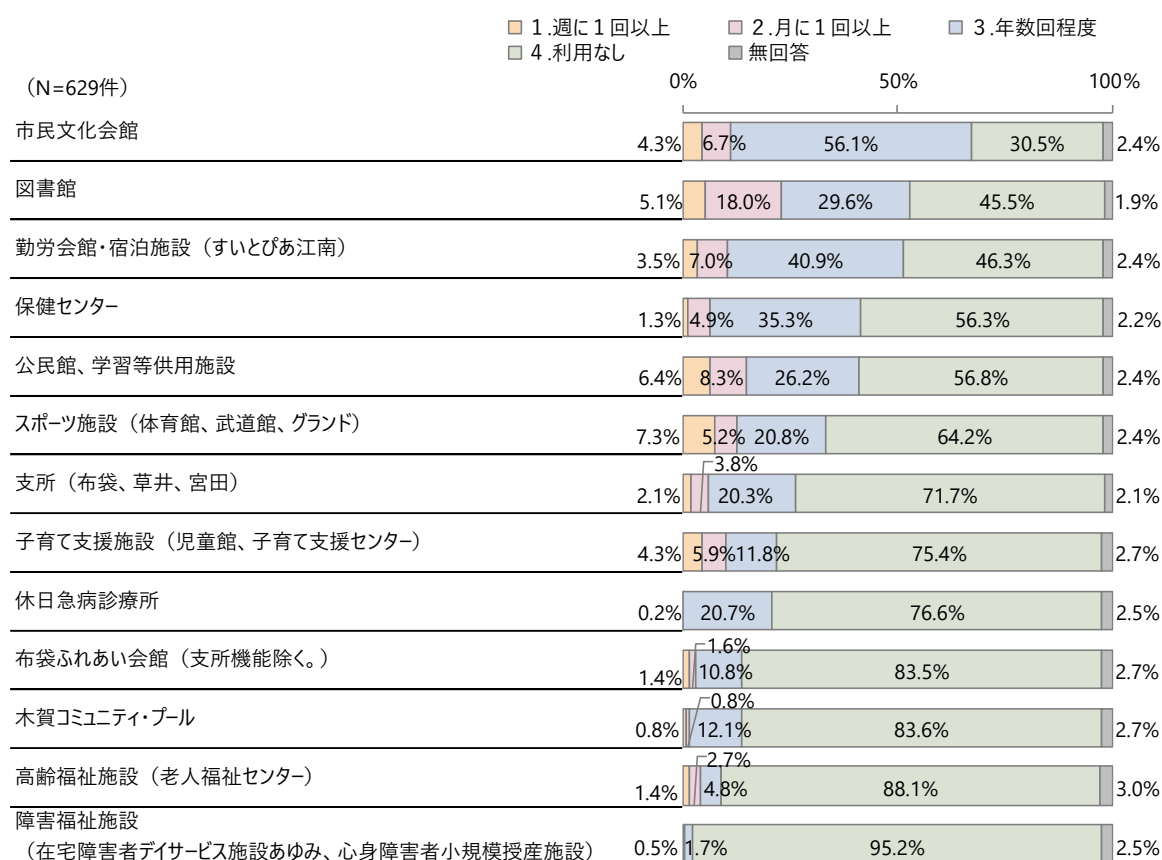
#### ・ 公共施設の利用状況

市民文化会館、図書館、すいとぴあ江南、保健センター、公民館・学習等供用施設、スポーツ施設の利用率は3割を超え一定の割合の利用がありますが、一方、障害福祉施設、高齢福祉施設の利用率は1割に満たず低い状況となっています。利用しなかった理由としては、すべての施設種別で、「利用する目的がない」が8割を超える結果となっています。

利用しなかった理由のうち、「施設・サービス内容が不満」は、図書館、木賀コミュニティ・プール、市民体育会館で「建物が古い」、「設備が充実していない」といった意見が複数挙げられています。

また、「施設・サービス内容が充実している」等の理由から利用している他自治体の施設として、一宮市立中央図書館や各務原市民プール等が挙げられています。

（図表 公共施設の利用状況）



・公共施設に対する考え方

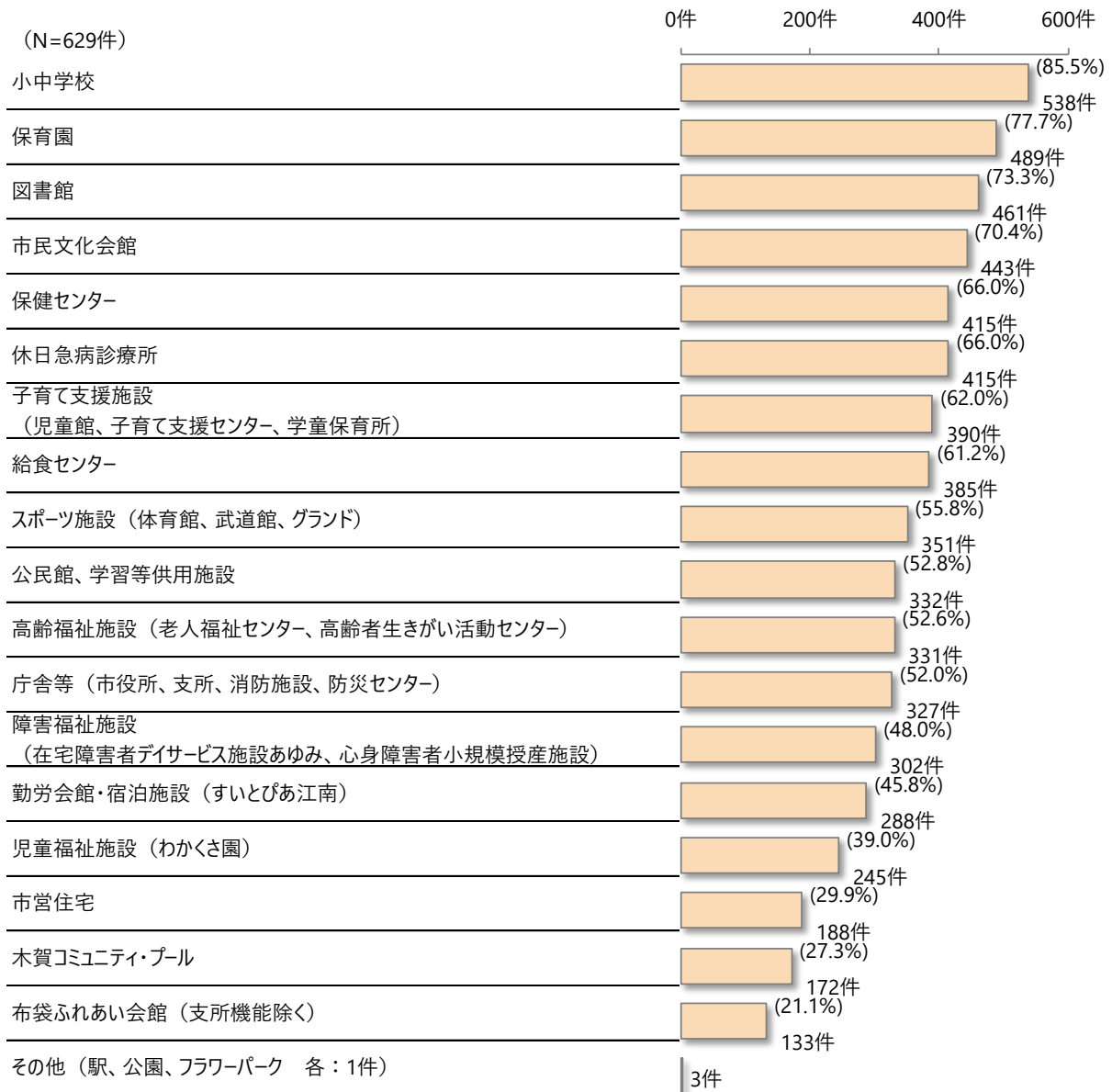
将来にわたって市が優先的に残していくべき公共施設として、小中学校、保育園、図書館、市民文化会館、保健センター、休日急病診療所、子育て支援施設、給食センターが6割を超える結果となっています。

また、保育園や小中学校は、統合による数の減少に対する反対意見が多く、施設長寿命化を図りつつ、複合化を求める声が多い状況となっています。

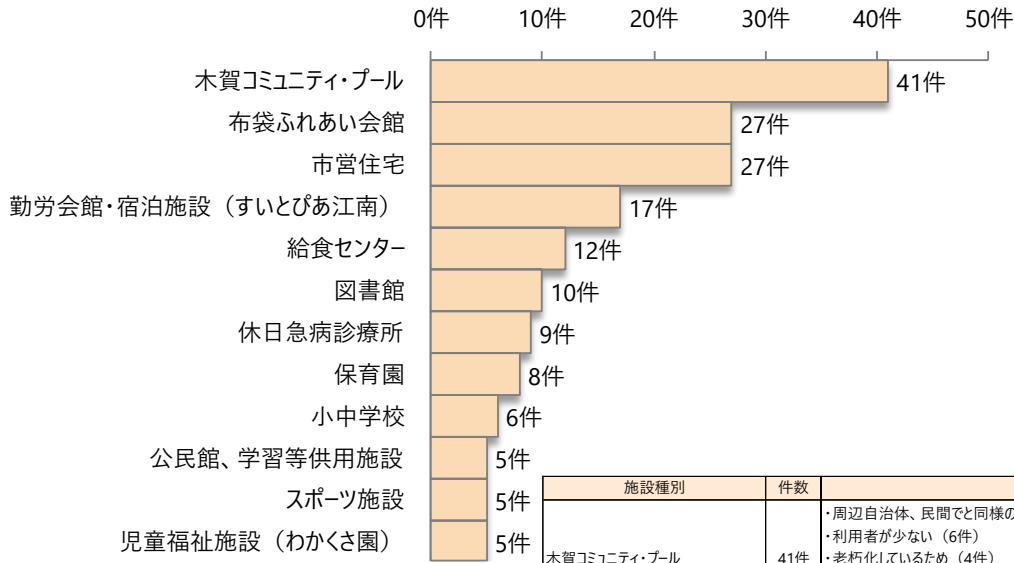
複合化すると便利だと思える公共施設の組み合わせとしては、小中学校と保育園、市民文化会館と図書館、小中学校と子育て支援施設等が挙げられています。

木賀コミュニティ・プール、布袋ふれあい会館や市営住宅については、優先的に残していくべき公共施設の順位が低く、廃止してもよい公共施設の順位が高い結果となっています。

(図表 将来にわたって市が優先的に残していくべき公共施設)

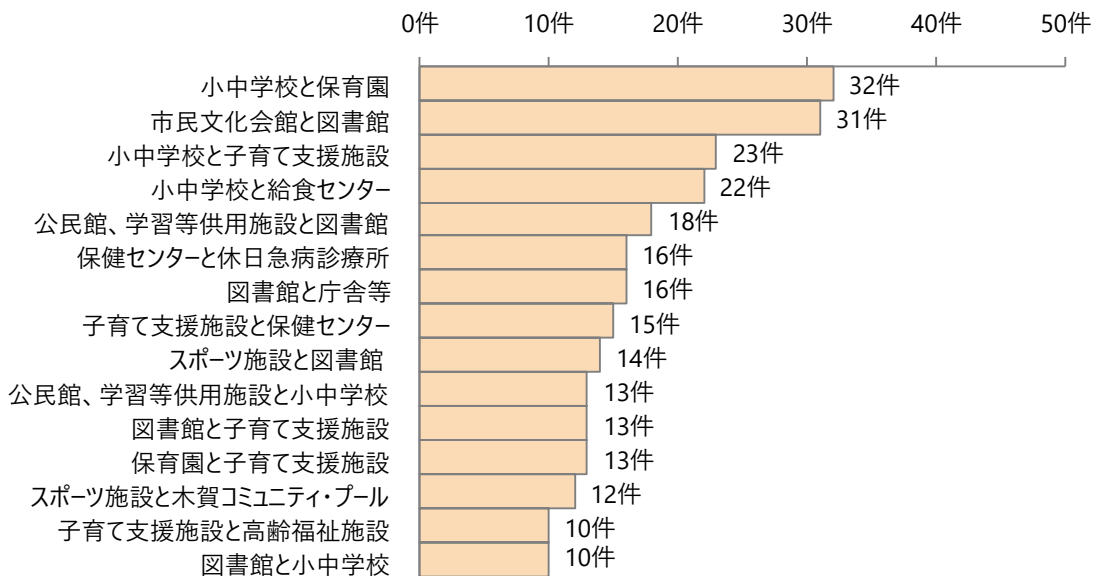


(図表 数を減らしてもよい、又は廃止してもよいと思う公共施設)



施設種別	件数	主な理由
木賀コミュニティ・プール	41件	・周辺自治体、民間で同様の施設が複数存在する (12件) ・利用者が少ない (6件) ・老朽化しているため (4件) ・使用していないから (3件) ・ごみ処理場併設で建てればよい (2件)
布袋ふれあい会館 (支所機能除く)	27件	・どのような施設なのか活用状況がわからない (4件) ・民間、他市町村などに同種の施設があるため (3件) ・存在の必要がない。
市営住宅	27件	・民間にも同種の施設があるため (12件) ・利用者減少のため (3件) ・江南団地の借上げで代替可能 (2件)
勤労会館・宿泊施設 (すいとぴあ江南)	17件	・民間にも同種の施設があるため (10件) ・利用 (宿泊) しないため (2件) ・必要性を感じないため (2件)
給食センター	12件	・民間委託でよい (9件) ・2ヶ所を1ヶ所にする (2件)
図書館	10件	・近隣市町村の施設のほうが充実しているため (2件)
休日急病診療所	9件	・民間の病院で対応しているため (7件)
保育園	8件	・人口減少、地域特性に応じて、適正配置必要 (4件) ・民間で対応できる (3件)
小中学校	6件	・人口減少、地域特性に応じて、適正配置必要 (5件)
公民館、学習等供用施設	5件	・利用状況に応じて (1件)
スポーツ施設	5件	・同様の施設が民間にもあるため (3件)
児童福祉施設 (わかき園)	5件	・他に施設があるため (2件)

(図表 同じ敷地又は建物の中にあると便利だと思う公共施設の組み合わせ)



## ・公共施設に対する意見等

図書館、小中学校・子育て支援施設や、スポーツ施設に対する自由意見が多い状況となっています。

【自由記入欄意見抜粋】 ※一部、文言や表現等を修正している箇所があります。

### 1. 図書館（41件）

- ・ 図書館を明るい雰囲気にて直してほしい。
- ・ 図書館をきれいにしてほしい。図書館にくつろげるスペースがもっとほしい。
- ・ 図書館をもっと活用しやすい場所にして大きくしてほしい。文化会館に集中させた方がよい。
- ・ 図書館をもっと広く、本の数を増やしてほしい。
- ・ 図書館が遠すぎるため、場所を変えてほしい。

### 2. 小中学校・子育て支援施設（40件）

- ・ 教育施設は維持すべき。統合し数を減らすべきではない。
- ・ 小学校のトイレを早く洋式にしてほしい。
- ・ 保育園と小学校、小学校と中学校の複合化を進めるべき。他自治体ではすでに実施されている。
- ・ 将来のことを考えれば、保育を最優先すべき。徒歩による通園が可能な程度の保育園数は維持すべき。
- ・ 子育て支援センターをきれいに建て直してほしい。

### 3. スポーツ施設（26件）

- ・ 体育館を民間にまかせて運営させるとよい。
- ・ 体育館を冷暖房完備にほしい。
- ・ 野球やサッカー等ができるグラウンドをつくってほしい。
- ・ 市民プールがなくなったので室内プールやトレーニングルームのある施設があるとよい。できれば図書館も併設するとよい。
- ・ ごみ処理施設の利用によって、温水プールをつくってほしい。

### 4. 公民館・学習等供用施設（6件）

- ・ 使用料の有料化に伴い、公民館の利用区分が2時間単位になったが使いづらくなった。
- ・ 学習等供用施設の使用料が有料になったが、以前のように無料に戻してほしい。

### 5. 市役所（5件）

- ・ 市庁舎の耐震工事をしたようだが、建築年数からみて新築の 때가近い将来あると思われる。民間活力を活用し、集約的な施設にほしい。
- ・ 公共施設（特に市役所）が新しくなるとうれしい。

### 6. 市民文化会館（4件）

- ・ 文化会館を中心として気楽に利用できる文化施設を望みたい。
- ・ 文化会館をもっと利用しやすく。例えば、ホールでの演目等を増やしてほしい。

### 7. すいとびあ江南（4件）

- ・ すいとびあ江南に子どもが集まれる施設があるとよい。
- ・ すいとびあ江南のトイレを全部洋式にほしい。

### 8. 福祉施設（3件）

- ・ 布袋ふれあい会館が市外の人利用が多くて予約がとれない。
- ・ わかくさ園のトイレだけでもきれいに改装してほしい。



### 9. 市営住宅（2件）

- ・市営住宅が老朽化してエレベーターもない。老人にもやさしい施設になるように、エレベーター等をつけてほしい。

### 10. インフラ施設（11件）

- ・公園を増やしてほしい。・道路の穴等が危険なため、早急に補修を実施されたい。・下水道が早くきてほしい。

### 11. その他施設（11件）

- ・駅の中に公共施設を入れる。・駅前トイレの改修要す。・ごみ処理施設をつくってほしい。

### 12. 公共施設全体に関する意見（36件）

- ・新規で建築できるうちに修繕や改修に済ませることなく、1つの建物にまとめることで効率化を図る。
- ・公共施設はだれもが使いやすいものでなくてはならない。そのためには江南市の中心部にコンパクトな公共施設が望まれるのではないだろうか。
- ・近隣自治体との協力（役割分担）による公共施設の集約は有効であり、江南市独自で維持すべき施設とのすみわけが必要と思われる。
- ・公共施設の案内をもっとしてほしい。
- ・安価な料金で利用したい。
- ・ショッピングセンターの一角に公共施設を間借り設置する。店舗側の集客力アップと引き換えに安価に借りることができれば利用者側としても利便性が高まる。
- ・統廃合後の跡地に対する有効な活用も検討が必要と思われる。従来から市の問題点となっている水害に対する防災施設又は設備を跡地に設置できないだろうか。
- ・駐車場を確保してほしい。

### 13. 公共施設以外の意見（18件）

- ・高齢になり施設を利用する際の交通手段に困る。無料バスを増やしてほしい。
- ・人口減少等マイナス面を考えて施策がされているが、市外の優良企業誘致との整合性が求められる。
- ・税の収入源は人口を増やす方法を考えることも大事

## ■ 結果概要（市外在住者）

市外在住者が利用する江南市の公共施設としては、市民文化会館、休日急病診療所、すいとびあ江南等が挙げられています。イベントへの参加や居住地に類似施設がないこと等が理由です。

不満な点としては、交通アクセスが悪い、駐車場が狭い等、建物以外での意見が挙げられています。

また、他自治体が有する施設で魅力を感じるものについては、138 タワーパーク、小牧市民プール、枇杷島スポーツセンター、扶桑文化会館等が挙げられています。

【自由記入欄意見抜粋】 ※一部、文言や表現等を修正している箇所があります。

- ・すいとびあ江南はなんとなく利用しづらい。
- ・すいとびあ江南は駐車場が広く、希望曜日・時間に利用できるのがよい。
- ・公共施設に宿泊施設はいらないと思う。
- ・体育館の駐車場が狭い。
- ・体育館のジムが古いので、新しくしてほしい。
- ・市のブランドイメージにつながるため、カフェを併設したきれいな図書館があったほうがよい。

## (2) 今後の公共施設のあり方に関するワークショップ

### ◆ 開催日時及び出席者数

日時	8月19日(土) 13:00~16:00	8月27日(日) 13:00~16:00
場所	江南市役所 大会議室	布袋ふれあい会館 会議室
出席人数	31人	17人

### プログラム

- 1 はじめに (5分)
- 2 江南市の公共施設の現状と  
課題について (10分)
- 3 アイスブレイク (45分)
- 4 グループワーク (85分)  
「暮らしやすいまちってどんなまち？  
～再配置シミュレーションゲーム」
- 5 休憩 (10分)
- 6 発表・共有 (15分)
- 7 ふりかえり (5分)
- 8 おわりに (5分)

★ 両日とも同内容



### ◆ グループワーク概要 「暮らしやすいまちってどんなまち？～再配置シミュレーションゲーム」

#### ■ グループワークの流れ

ワーク① 暮らしやすいまちってどんなまち？

1. 暮らしやすいまちについて一人ひとりが意見を出し合います。
2. 全員の意見を見比べながら、グループでひとつの「まちづくりキーワード」にまとめます。

ワーク② 再配置シミュレーションゲーム

1. 「まちづくりキーワード」を踏まえ、江南市の「仮想地区」に対して、公共施設のコスト削減をめざします。
2. 対応方針を決定した施設カードに必要事項を記入し、ワークシートに貼ります。
3. 再配置シミュレーションゲームを踏まえ、公共施設の再配置検討にあたり「大切にしたい視点（最大3つ）」を抽出します。

■ グループの発表概要

8月19日(土) 江南市役所 大会議室

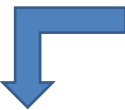
Aグループ

・ワーク① 暮らしやすいまちってどんなまち？

まちづくりキーワード

市民一人一人が活躍できる  
まちづくり

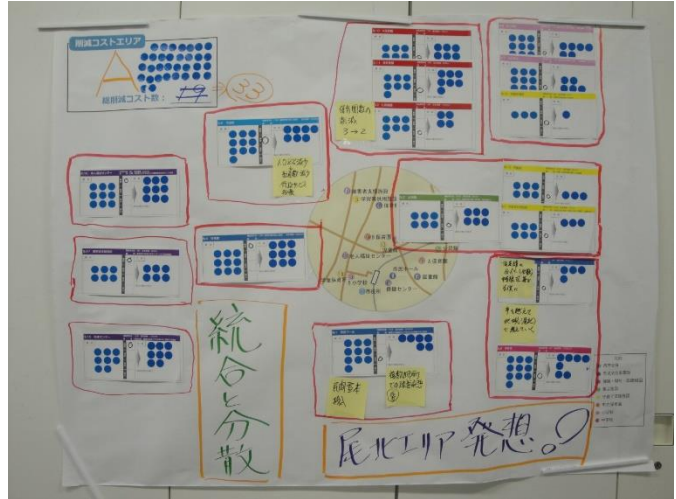
- ・健康
- ・教育
- ・地域のつながり
- ・安心安全なまち



グループ発！公共施設の再配置検討  
にあたり「大切にしたい視点」は？

- ☆ 統合と分散
- ☆ 市を越える→エリア発想
- ☆ 民間資本へ移行

・ワーク② 再配置シミュレーションゲーム

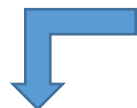


Bグループ

・ワーク① 暮らしやすいまちってどんなまち？

まちづくりキーワード

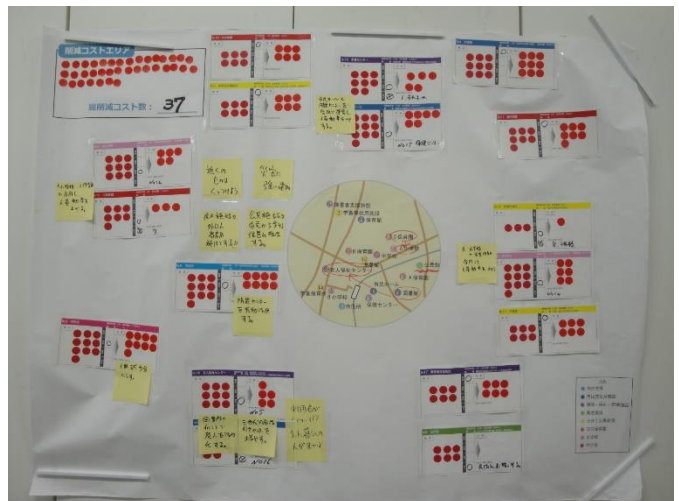
災害のない  
健康で明るい町  
安全安心



グループ発！公共施設の再配置検討  
にあたり「大切にしたい視点」は？

- ☆ 近くの物をくっつける
- ☆ 災害に強い建物にする
- ☆ 現状の機能は残す

・ワーク② 再配置シミュレーションゲーム

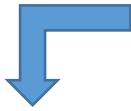


Cグループ

・ワーク① 暮らしやすいまちってどんなまち？

まちづくりキーワード

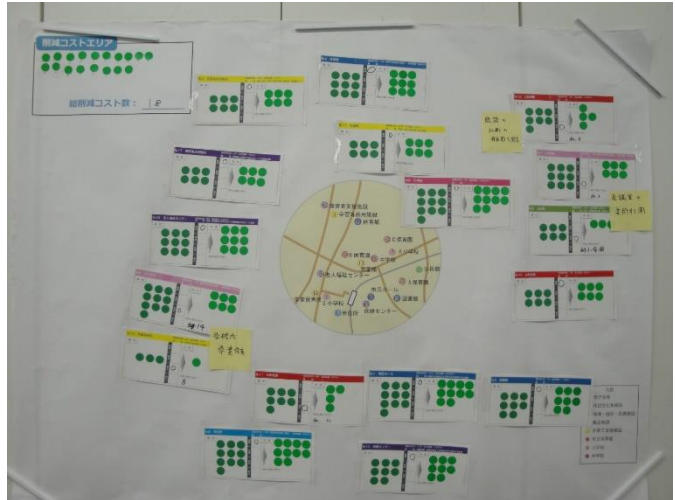
大人と子供が  
安心して暮らせる



グループ発！公共施設の再配置検討  
にあたり「大切にしたい視点」は？

- ☆ 機能が似かような施設を  
複合化(共同利用)
- ☆ 必要なものは必要、残す
- ☆ 地理的条件を考慮

・ワーク② 再配置シミュレーションゲーム

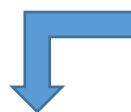


Dグループ

・ワーク① 暮らしやすいまちってどんなまち？

まちづくりキーワード

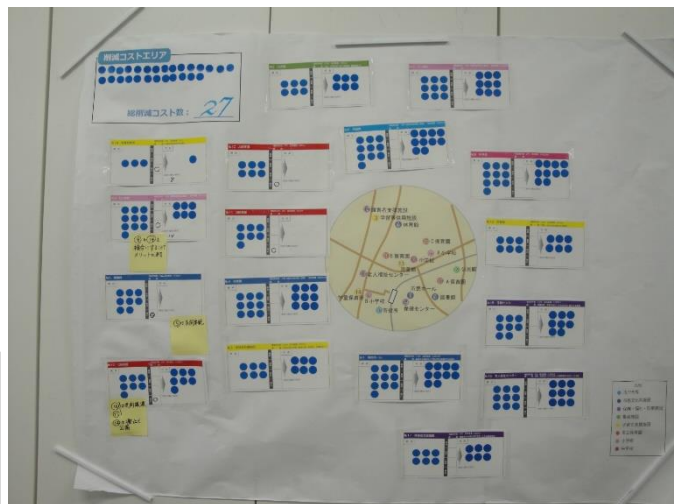
緑・公園を増やす  
子どもが安全に遊べる  
病院・スーパーの充実



グループ発！公共施設の再配置検討  
にあたり「大切にしたい視点」は？

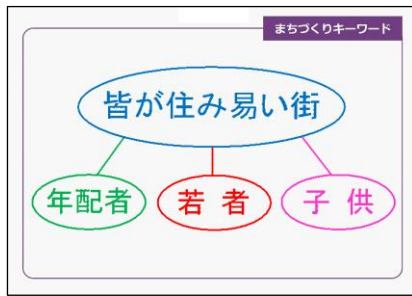
- ☆ 民間譲渡  
" (委託)
- ☆ 近隣施設活用  
(他市町・広域) プール  
障害施設

・ワーク② 再配置シミュレーションゲーム



## Eグループ

・ワーク① 暮らしやすいまちってどんなまち？



グループ発！公共施設の再配置検討にあたり「大切にしたい視点」は？

- ☆ 人口減少
- ☆ 世代を越えた交流を目指す
- ☆ 小学校などの空きスペースの有効活用

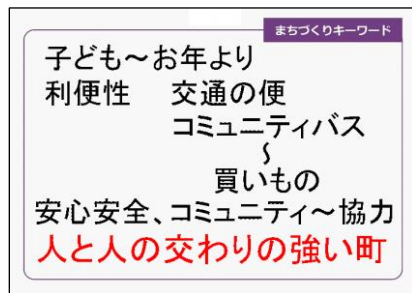
・ワーク② 再配置シミュレーションゲーム



8月27日(日) 布袋ふれあい会館 会議室

## Aグループ

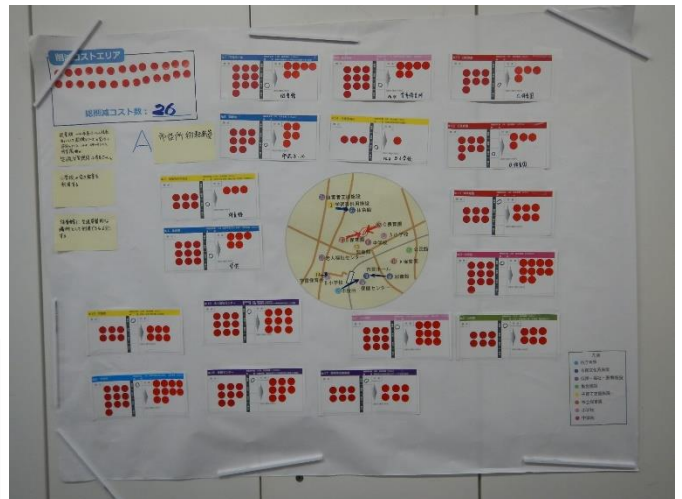
・ワーク① 暮らしやすいまちってどんなまち？



グループ発！公共施設の再配置検討にあたり「大切にしたい視点」は？

- ☆ 機能統合
- ☆ 機能の近いものの複合
- ☆ 魅力のある新施設へ

・ワーク② 再配置シミュレーションゲーム

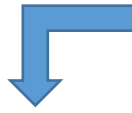


## Bグループ

### ・ワーク① 暮らしやすいまちってどんなまち？

まちづくりキーワード

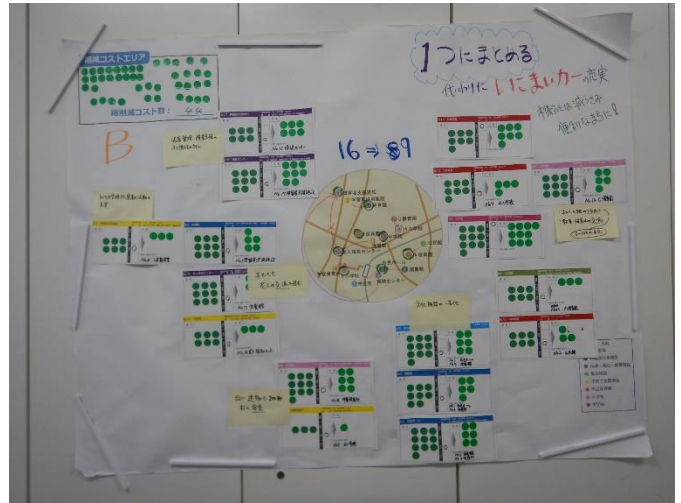
- ◎ **安心** 防犯、防災、地域コミュニティ
- ◎ **便利** いこまいカー、お店
- ◎ **全ての年代のための**  
老人ホーム、図書館など



グループ発！公共施設の再配置検討にあたり「大切にしたい視点」は？

- ☆ **全ての年代のために機能は減らさない！**
- ☆ **1つにまとめる！**（分散 → 統合）
- ☆ **行きやすさ、便利さ**  
※空き家利用が課題（いこまいカー・駐車場）

### ・ワーク② 再配置シミュレーションゲーム



## Cグループ

### ・ワーク① 暮らしやすいまちってどんなまち？

まちづくりキーワード

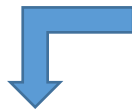
江南

協力 ↑ 協調

集まる

参加 ↑ 意見

心 健康・安心・安全



グループ発！公共施設の再配置検討にあたり「大切にしたい視点」は？

- ☆ **同時に利用できる = 複合**
- ☆ **歩いて行ける = 継続**
- ☆ **人口減少を意識 = 複合**

### ・ワーク② 再配置シミュレーションゲーム



### ◆ まとめ

- 学校と、学校に近接する保育園、学童保育所や公民館との複合化による地域コミュニティ拠点の創出
  - 文化会館と図書館の複合化による文化拠点の創出
  - 機能の重複する公民館と学習等供用施設の複合化
  - 対象者の異なる老人福祉センターと児童館を複合化することでの多世代交流拠点の創出
  - 図書館や保育園で民間活力の活用
- など、グループそれぞれに特色のある具体的な再配置案を提案していただく結果となりました。

### (3) 江南市の公共施設再配置に関するシンポジウム

#### ◆ 開催概要

- ・開催日時 平成 29 年（2017 年）10 月 28 日（土）14 : 00 ～ 16 : 20
- ・開催場所 江南市民文化会館 2 階 第 1 会議室
- ・参加人数 73 人



#### ■ 主催者あいさつ（14:05～14:10）

江南市長 澤田 和延

- ・公共施設再配置が必要な理由は、公共施設の老朽化と人口減少・少子高齢化により、税収の減少と社会保障費の増加が生じ、地方公共団体の財政が圧迫されることが予想されていることである。
- ・総合管理計画策定時における試算では、現在所有する公共施設を全て同じ規模のまま建て替えようとすると、財源の不足がわかっており、計画的に再配置に取り組まなければ、施設利用者の安全性が確保できず、施設サービスを提供することができなくなる可能性も否定できないため、この不足額を解消すべく、公共施設の管理に関する基本方針を定めた。
- ・再配置計画は、総合管理計画で定めた基本方針を踏まえながらも、施設の統廃合等が行政サービスの質の低下につながらないよう、「めざす都市の将来像」の実現に向けた、新たなまちづくりの契機としていくための中長期的かつ具体的な取組の指針となる大変重要な計画である。

## ■ 基調講演「まちづくりとしての公共施設マネジメント」（14：10～15：15）

名古屋大学准教授 恒川 和久 氏

### ・公共施設に関わる3つの問題

- ①施設の急速な老朽化 ②人口減少と少子高齢化 ③厳しい財政状況

### ・公共施設マネジメントとその本質

#### ①国の動き

2013年、インフラ長寿命化基本計画策定。総合管理計画等の取組について、補助金をセットにして自治体を誘導している。

#### ②公共施設マネジメントの目標

自治体は、安定した市民サービスの提供や、豊かな市民生活を送ることができる環境を実現するために公共施設マネジメントを行う必要がある。

#### ③公共施設マネジメントの二大戦略

多くの自治体が「施設総量の適正化」と「施設の長寿命化」を柱として掲げている。

#### ④公共施設マネジメントにおける問題の本質は？

自治体内部局の縦割り、自治体間、官民の壁等を越えた新しい公共サービスのあり方を考えていくことである。

#### ⑤公共施設マネジメントは自治体経営の本質に関わる

地域の魅力と地域に根ざした施設をどのようにつくり、市民がどう使うかを考慮していくなど、自治体経営の目標を具現化する本質的な取組である。

### ・江南市における公共施設の現況

公共施設の総延床面積は県内最小レベルであり、内訳としても学校の比率が高く、保育園は充実しているものの、公園、大学、大型商業施設等の拠点となり得る民間等の社会資本全般の充実度がやや低い状況である。よって、市民が憩えるような場所が少し乏しい中で、将来の都市の姿と公共施設の計画を考えていく必要がある。

### ・まちづくりとしての公共施設マネジメント

#### ①公共施設における基本方針（総合管理計画より）

#### ②公共施設縮減目標

#### ③江南市のめざす都市の将来像（第6次江南市総合計画基本構想より）

#### ④都市計画マスタープラン 将来都市構造図

#### ⑤公共施設再配置の基本方針

施設の縮減について、それ自体は、江南市が実現する施策を支えるための手段であることを認識し、まちづくりのための公共施設マネジメントを行っていくことが目標である。

#### ⑥まちづくりとしての公共施設マネジメントに向けて

公共施設マネジメントでは、地域課題を解決するための都市計画との連動や、地域や場所の特性を読み解き強みを活かすこと、自らの権利で管理していく仕組みを考えること、さらには、役割分担しながら周辺自治体との広域連携を考慮するなど、プログラムや提供サービス、公共施設の整備・閉鎖という方法論が問われている。その際、関係者や専門家だけではなく、施設を利用していない市民も含めて多様な利害関係者の理解も必要となる。



## ・市民参加による公共施設マネジメントへ

施設の整備や統廃合を考えていく際には、効率性のみを重視し施設を縮減するだけでなく、市民と一緒に建設プロセスや提供するサービス内容を考えていくことが極めて重要である。

### ■ パネルディスカッション「選ばれ続けるまちをめざす江南市の公共施設とは？」（15：20～16：15）

#### 【コーディネーター】

恒川 和久 氏／名古屋大学准教授、江南市公共施設再配置計画検討委員会副委員長

#### 【パネリスト】

高橋 政稔 氏／名城大学名誉教授、江南市公共施設再配置計画検討委員会委員長

大西 信二 氏／江南市公共施設再配置計画検討委員会委員（公募委員）

山 登志浩 氏／江南市議会議員、江南市公共施設再配置計画検討委員会委員

澤田 和延／江南市長

#### トーク1：江南市の公共施設の現状をどう捉えているか？

高橋氏)

- ◇図書館は、老朽化が進んでいて、位置環境もよくないように感じる。今の場所では気軽に行けない。
- ◇保育園は、多点分散型が強みだが、老朽化が進んでいるのが問題だ。

大西氏)

- ◇大分県日出町では、図書館を人が集まるショッピングセンター内に移転。江南市でもアピタ江南西店の中に図書館ができたイメージすれば、生活の中に図書館という施設が身近に感じられないか。
- ◇行政同士で施設利用提携を結び、相互補完をしていくことは大切ではないか。
- ◇市営住宅はURへ払い下げ、新たに必要となった場合には、民間の賃貸住宅を借り上げて家賃補助という形はどうか。
- ◇「老いも若きも学校がコミュニティの核」として、学校と学童保育所、児童館、デイサービス施設等と複合・共有化することで、他施設の縮減を図れないか。

山氏)

- ◇公共施設の約6割を小中学校が占めている。学校の今後をどうするか、真剣に考えないといけない。
- ◇図書館等、文化の香りがする施設や、中高生が自由に活動できる場所があまりなく、人を呼び込むだけの魅力が不足している。選ばれ続けるまちにするには、何を望んでいるのかを十分に把握して、公共施設のあり方を考えないといけない。

市長)

- ◇合併していないこと、バブル期に多量にハコモノをつくってこなかったことで現状の公共施設数は少ないが、それでも40年間で約447億円不足するので、早急に対策を練らないといけない。
- ◇保育園は18園あり、質・量ともに充実しているため、議論の対象となる。サービス水準を落とすことなく、財政面の問題を解決するため、民間の活用や統廃合も考えていかないとけない。
- ◇江南市の図書館は中心地から遠い、蔵書が少ない、施設が狭い等、様々な問題点がある。今、図書館の基本計画を立てようとしており、江南市に適した図書館をめざす計画としたい。
- ◇学校は、文科省の方針も注視していく必要があるが、地域や民間との連携事例もあるため、大いに検討していきたい。

## トーク2：公共施設の課題解決のため、選ばれ続けることを踏まえた特に重要な施策はどのようなことか？

高橋氏)

- ◇図書館は、市民文化会館との複合化や、国の施設ではあるがフラワーパーク江南内へ新設すれば、若者や高齢者など多くの世代が交流でき、結果的に賑わいが生まれると思う。

大西氏)

- ◇最近では、「おもてなしトイレ」が空港や道の駅にある。江南駅は、名鉄犬山線乗降客数No.1であり、トイレへの投資は、話題性すなわち江南ブランドの一つにもなるし、ホームシティ江南という施策にも通じる。
- ◇公立保育園の待機児童はゼロを維持しているが、他市町村と比較して、施設数が多いから減らすという相对比较から結論づけてはいけない。共働きをサポートし子育てしやすい環境を子育て世代にアピールすることで、世帯・人口増で税収も増へという、プラスのサイクルにつなげていく必要がある。
- ◇ハード&ソフト両面で魅力の創造をし、「江南ブランド」を確立することで、江南市に「人の流れ」「仕事の流れ」をつくる必要がある。

恒川氏)

- ◇今ある資源をうまく使って公共施設再配置を進めていくのは、よいアイデアだと思う。

山氏)

- ◇江南市の学校は、老朽化が進んでおり、リノベーションは必要だが、公民館、支所、デイサービス施設、集会所等を学校に含め、地域コミュニティの拠点をつくってもらいたい。
- ◇施設規模の大きい文化会館やすいとびあ江南の運営手法を見直したり、近隣自治体と連携したりすることも検討した方がよい。

恒川氏)

- ◇学校を核とし、空いているところをうまく使っていく。江南市に適した方法で学校を再配置することが必要である。

市長)

- ◇現在ある施設をどう活用するか、地域の人と一緒に考えていきたい。
- ◇学校の複合化の検討も必要だが、学校プールのあり方の検討も進めたい。
- ◇布袋駅東地区で検討中の施設は図書スペースや交流スペースを導入するほか、既存の保健センター、子育て支援センターを移転させ、さらに民間事業者による子育て・教育、福祉施設や生活利便施設等の民間施設を併設し、賑わいの拠点となる官民複合施設としていく予定がある。
- ◇江南市は子育て先進都市をめざしていくため、保育サービスの充実が重要であるが、今後、病児・病後児保育や、一時預かり、休日保育等あらゆるニーズに応えていこうとすると、民間事業者との連携・協働を推進することが不可欠となる。
- ◇公共でできないものは民間と一緒にやっていく仕組みをつくっていく。そうすれば、結果的に公共施設の縮減も可能だと思う。

## おわりに

恒川氏)

図書館、学校、保育園等の今後について多くの意見が出たように、公共施設再配置には様々なアイデアがある。新しい発想を取り入れれば、市民にとってよい施設となり、財政面の問題も解決できるだろう。そのためには市長がリーダーシップをとって、各職員が公共施設再配置に取り組むとともに、市民も関心を持って一緒に考えてほしい。

#### (4)「江南市公共施設再配置計画（案）」に関するパブリックコメント結果

##### ◆実施状況

意見の募集期間 平成 29 年（2017 年）12 月 20 日（水）から平成 30 年（2018 年）1 月 19 日（金）まで  
意見を提出された方 1 名  
意見の件数 1 件

##### ◆意見の概要と市の考え方

【新図書館について】

意見の概要	現図書館の隣接地を図書館用地として永年借用や買取等にてスペースを確保して現在場所での充実を図るべき。
市の考え方	市では、平成 30 年度に図書館基本計画を策定することとしており、市民のニーズに沿った図書館サービスの提供を推進するため、今後の図書館のあり方や立地、規模等について検討してまいります。





江南市公共施設再配置計画

平成 30 年 3 月  
(令和 2 年 3 月更新)

発行 愛知県江南市  
〒483-8701 愛知県江南市赤童子町大堀 90 番地  
電話 (0587) 54-1111 (代)  
編集 総務部行政経営課